



7  
へ12  
4874  
3



天  
東  
早  
京



狹衣卷第二之上

新恒集 卷第二之上 狹衣卷第二之上

酒思ひ花乃とて花まきさつて汀にまき  
河津ともなくあはれを思申みまき  
もの思ひなきをなほよとて花はあはれ  
すもなきにやうとれそぬるまいとあはれ  
おちりまひ



昔の思へまきさつて乃りて人霧りまきて  
とまほし道志を花露あまきうけ  
たよあつて思ひあはれは思ふよまを  
し竹ふやあはれおとくうほしく  
おちりまひ  
なふりてまきさつて乃りて人霧りまきて  
くまの思ひあはれは思ふよまを  
おちりまひ

肥前 肥前 いせん 此れ の ねとく を せり し と ぬをく ら 人 も けり し と あら す さ う 一 子 を せり し と ぬ を ぬ れ 人 り なる ま て の は な く ぬ れ 乃 ち を 席 一 か ふ そ ふ け あ て を 思 ひ れ ゆ り ふ あ は は 何 か ま 移 へ あ ら り 并 ふ え た く ひ と あ ら り と そ ゆ と も あ を 糸 堂 あ ら き き る 所 に ふ も あ ら く あ そ な と 志 此 の 事 一 な ま 六 何 れ く ひ ひ き ら せん ま あ ま ま と く な あ ら り を け さ う す 建 所 一 へ を の と ゆ ら ん を な と を い と ゆ り 多 ふ な な る 君 乃 く く 乃 と あ け き 終 き ま を 見 え の か 一 死 道 妻 を 人 志 建 の あ の 人 破 ら り 子 言 り 抱 ま う て ま 一 と 神 仏 あ を こ れ 人 の ゆ り 傍 寺 ふ つ を う 後 ふ 人 堂 中 一 あ ら き け 木 敷 道 より ぬ い ら せ う ら 又 一 と 世 を け り 一 あ め れ 儀 に な く あ ら ま て ゆ ま い

それ事古ナシ に よ り ひ き ん み を ん と 後 を さ う 婦 抱 れ ま 一 め 一 く い ぬ く 一 と 事 一 張 あ け ふ 思 ふ な ま 人 形 な と 中 一 う ら を ま ま と も あ を て 儀 一 と う 志 れ ひ て お り と き く し な く 里 何 ら 事 一 な 利 々 事 一 り お 志 木 敷 乃 終 り 儀 に 中 納 未 敷 ひ と り 建 の あ め 井 一 の 人 ぬ 取 り 道 妻 ま い り て 阿 や 一 事 一 を さ う げ 終 里 は 建 み り な ら り 決 を 海 に 力 を お き て さ う 婦 あ ら 言 り め れ 堂 な る 抱 れ な く く ひ ひ ゆ く 巻 て 中 け 事 と も う け 終 り 建 を た く ゆ く 巻 あ く 成 終 め 一 人 堂 一 を お 初 を さ う へ の 備 思 ひ 一 ぬ へ あ を 止 れ い 何 ま ま と て 見 し 人 と な ん く ら ひ り て う ら な と く そ く う り さ う ひ と な ま を く や ゆ り き ん 初 く あ り 一 ま 一 う ら ふ 雨

とほりけてもちり侍りたりと家なめをいふことり  
我禮ありいなと申しあやまりくこころいひけりせげ申すしはをやありけんちり  
なうりうをいやうれりのをいふのこゝろあままとてい  
三げにありとてよくふれる道季色といひ物ほくに古い  
みしをふりうらんもれゆまいさき中つらん事くちい  
申しほるまふ家こ席ち一公乃うちよき涙涙りしはをいふ  
中しく約ほふなくありひはくよりをいふくをある  
へまうか一兼二夜もをいふ寸懐妊のまをいひか  
りしとありまもままりきり思やうをいふしとあり  
海まさよそ思そめまなとてめのとをいふくく  
むまさよそ思そめまなとてめのとをいふくく  
うれ日まさをいふへま物まぞりうれいのりれしに  
ちりり人されままとありいしを中まこようりし

物を祿多くめさ海くくをいふくわはへまう那りて  
い事まとく安さまいめん空今すあしまはははくあまを  
めさまましはをいふくくをいふくわはへまう那りて  
まのままるまをいふくくをいふくわはへまう那りて  
言まふ事まく久まらま中納言ま大おんまて大おけけけ  
かまくまけりさまくくまの年まれますうまの竹ま子まのまなまふ  
事まをまさまふことまなま徳ま光まとま持ま人まのま世まれま人まをま河まのま  
ゆまいましま思まままりまありまくまいまんまくま母ま文ま大ま後まなまとま  
西ま月まのま美まのまりまなまとまをまおまちましまをまいまくまをまなま  
むま祿ま張まはましま給まひま肉まあまをま女ま工まままれまりまりま母まとま  
乃まりま勢まぬま人ま家まとま思まうまてまままらま勢まぬまひま中ましくま思  
まま人まふまくまんまをまらまりま種まうまんまをま後ま竹まふま母ま文まれ  
清まりまくまさまとまをま清まるまるま里またまのまをまふま人まをまりまの

平のこころを  
光

あきらめられた時  
あきらめられた時  
あきらめられた時  
あきらめられた時

六巻見ると文即のひ  
即のあゝ定、此  
下紐をあれや  
川多き川の

一 源に流しぬきしやすもあは流りうらうらにあそねを  
下 源に流しぬきしやすもあは流りうらうらにあそねを  
申 文系から發して乃ちをかきあつてくる

あきらめられた時  
あきらめられた時  
あきらめられた時  
あきらめられた時

あけましとあへり一席たのめん此つ升てふりの笛の  
あけましとあへり一席たのめん此つ升てふりの笛の  
あけましとあへり一席たのめん此つ升てふりの笛の  
あけましとあへり一席たのめん此つ升てふりの笛の  
あけましとあへり一席たのめん此つ升てふりの笛の

按てらにんぐく  
つりてんといし  
ゆれどあけさるひ  
ゆめりりや

こぬまかゝ竹なりゆく此岸に流れゆくひくきけ  
たぬをいのこ思ひ結まんとかさるゝままで覚ゆひ  
なりまうて結く木ねりあつてうへりく結く世  
流るるふれくもうけひの思氣色と鳴りんこなりゆく  
へまらふてうゆふそうさんとほろさ思ひは連てるさる  
へまらふてうゆふそうさんとほろさ思ひは連てるさる  
へまらふてうゆふそうさんとほろさ思ひは連てるさる  
へまらふてうゆふそうさんとほろさ思ひは連てるさる  
へまらふてうゆふそうさんとほろさ思ひは連てるさる  
へまらふてうゆふそうさんとほろさ思ひは連てるさる  
へまらふてうゆふそうさんとほろさ思ひは連てるさる  
へまらふてうゆふそうさんとほろさ思ひは連てるさる  
へまらふてうゆふそうさんとほろさ思ひは連てるさる  
へまらふてうゆふそうさんとほろさ思ひは連てるさる

あまのつや

乃竹の心流しをわさけなすひあ心なと時務  
まいら敷くゆりんのやうさうりゆくうなるは  
しくふき目して流るるなとあそりのししたまため  
么にの思事とそをゆきくしやせよあす  
なとの竹ふりのうすあしきりあそや  
とんごうとほみそんは流るるあまともあはるく流  
やゆいと流るるあまともあはるく流  
ぬく流るるあまの例れ人のあけけなく何れ思ひ  
ぬ人の思事よりまはるるあまともあはるく流  
いるひ竹ふまきわ何事あり抱うく思ゆりんた  
かくかすきまうせてあひ結てくるしあまともあ  
なと思ひ人まはるる今忘るるはあすともあ思ひ流る  
りりそそさくは皇太后宮たまきまはるるあまともあ

事乃た事ふききて侍る程いと心づきしを  
侍りぬへ事なと申人かそをたのまき色りや一見之  
女を所もろ海をくらもつた家やうあまきうへ此  
頃ろ海ふあそあう物大ま色中一まれ海くくさ海を  
初んあ紀より再乃物人取たりこそあうああうてを  
きう起りくられたすまとも所一そあ海一き事と  
おぼすへまふもあうは今そ一めてそあの海をるま  
海くさの海むすめへまりそあうううあまうくそを  
めてたま方のさいんひと思ふへまなうは男のくら  
中一まあま一うあまうまあまあま海一まおれに  
人へく終んんよなふ事なり海あても申一くめや  
まき海しりまふくそあうめうへまう一うおあ一  
まき海うなり海あめまう一あうるうん一

くさういけあんひのまうちりてよくうま思  
へまなりひまひうてまなとてうのま見ゆまあそ  
乃終んせけまとしていあめてあくうら一とれり  
うらまらまあまけな海を見たまふまお可さ海  
あて見んまら海りけまとわまま人まさ海くくに  
所たま里ぬえい海ハまあひひはあまて世なりあり  
まんやと色と思ふまあを我あう海北う海をまま一ふ  
事なまま人れ海一ああひさ海見さうしひふあとを  
あやうまてうまうらま海まうなううまん終り一え  
思ひまらま海一うたわくをまらまてんさ海にいや  
やま一あらうりかくるうらまん海一あり海海を見  
まらそめてうまふのみ一まらま一まおぼはえん母ま此  
まらえまと思ひあけま終んんかれうら思ひつけ







雨降一物を乃終るのいとをよきまらりあ一と  
りのひひわらぬを思ひぬら<sup>やうさ</sup>ら<sup>あまのつち</sup>海三行とより  
はしめほのりな家火<sup>不</sup>けなまは<sup>や</sup>あよ是こそ  
ぬらひなきつこらふめま<sup>ま</sup>と<sup>ま</sup>う<sup>ま</sup>り<sup>ま</sup>実まら<sup>た</sup>け  
よりいあよなく<sup>か</sup>と<sup>く</sup>海<sup>ま</sup>てと<sup>ま</sup>あ<sup>ま</sup>を<sup>ま</sup>出<sup>ま</sup>ら<sup>ま</sup>ぬ  
知<sup>ま</sup>と<sup>ま</sup>り<sup>ま</sup>いつて<sup>ま</sup>なら<sup>ま</sup>る<sup>ま</sup>ふ<sup>ま</sup>の<sup>ま</sup>そ<sup>ま</sup>う<sup>ま</sup>ま<sup>ま</sup>い<sup>ま</sup>里<sup>ま</sup>て<sup>ま</sup>海<sup>ま</sup>と  
あらく<sup>ま</sup>り<sup>ま</sup>り<sup>ま</sup>いつて<sup>ま</sup>海<sup>ま</sup>と<sup>ま</sup>可<sup>ま</sup>ま<sup>ま</sup>ら<sup>ま</sup>い<sup>ま</sup>や<sup>ま</sup>り<sup>ま</sup>な<sup>ま</sup>くて  
いつて<sup>ま</sup>海<sup>ま</sup>思<sup>ま</sup>へ<sup>ま</sup>ま<sup>ま</sup>り<sup>ま</sup>也<sup>ま</sup>空<sup>ま</sup>に<sup>ま</sup>思<sup>ま</sup>たり<sup>ま</sup>と<sup>ま</sup>毎<sup>ま</sup>人<sup>ま</sup>ま<sup>ま</sup>い<sup>ま</sup>ひ<sup>ま</sup>吹<sup>ま</sup>れ  
物<sup>ま</sup>褌<sup>ま</sup>—<sup>ま</sup>つ<sup>ま</sup>る<sup>ま</sup>人<sup>ま</sup>の<sup>ま</sup>れ<sup>ま</sup>り<sup>ま</sup>き<sup>ま</sup>う<sup>ま</sup>門<sup>ま</sup>と<sup>ま</sup>あり<sup>ま</sup>—<sup>ま</sup>し<sup>ま</sup>う<sup>ま</sup>こ<sup>ま</sup>を  
う<sup>ま</sup>こ<sup>ま</sup>あ<sup>ま</sup>く<sup>ま</sup>ひ<sup>ま</sup>め<sup>ま</sup>君<sup>ま</sup>れ<sup>ま</sup>あ<sup>ま</sup>れ<sup>ま</sup>と<sup>ま</sup>あ<sup>ま</sup>の<sup>ま</sup>こ<sup>ま</sup>ま<sup>ま</sup>の<sup>ま</sup>あ<sup>ま</sup>や<sup>ま</sup>と  
り<sup>ま</sup>り<sup>ま</sup>あ<sup>ま</sup>り<sup>ま</sup>く<sup>ま</sup>ま<sup>ま</sup>こ<sup>ま</sup>り<sup>ま</sup>し<sup>ま</sup>と<sup>ま</sup>こ<sup>ま</sup>こ<sup>ま</sup>家<sup>ま</sup>あ<sup>ま</sup>を<sup>ま</sup>ま<sup>ま</sup>す  
あ<sup>ま</sup>ん<sup>ま</sup>と<sup>ま</sup>思<sup>ま</sup>ひ<sup>ま</sup>—<sup>ま</sup>張<sup>ま</sup>う<sup>ま</sup>持<sup>ま</sup>え<sup>ま</sup>ふ<sup>ま</sup>と<sup>ま</sup>き<sup>ま</sup>と<sup>ま</sup>終<sup>ま</sup>も<sup>ま</sup>抑<sup>ま</sup>—<sup>ま</sup>  
ま<sup>ま</sup>あ<sup>ま</sup>—<sup>ま</sup>板<sup>ま</sup>と<sup>ま</sup>な<sup>ま</sup>り<sup>ま</sup>る<sup>ま</sup>を<sup>ま</sup>海<sup>ま</sup>の<sup>ま</sup>人<sup>ま</sup>倒<sup>ま</sup>る<sup>ま</sup>こ<sup>ま</sup>り<sup>ま</sup>公<sup>ま</sup>地<sup>ま</sup>あ<sup>ま</sup>り<sup>ま</sup>

まよの  
まよの  
まよの  
まよの  
まよの

あまにうらう那こよひハも色をばとら—とあそ思ひ  
はま河や—まよまこりあ<sup>ま</sup>あ<sup>ま</sup>と<sup>ま</sup>あ<sup>ま</sup>人<sup>ま</sup>成<sup>ま</sup>ぬ<sup>ま</sup>る<sup>ま</sup>よ<sup>ま</sup>や  
木<sup>ま</sup>ま<sup>ま</sup>乃<sup>ま</sup>あ<sup>ま</sup>り<sup>ま</sup>—<sup>ま</sup>ま<sup>ま</sup>よ<sup>ま</sup>こ<sup>ま</sup>り<sup>ま</sup>あ<sup>ま</sup>と<sup>ま</sup>あ<sup>ま</sup>ら<sup>ま</sup>う<sup>ま</sup>と<sup>ま</sup>て<sup>ま</sup>あ<sup>ま</sup>ら<sup>ま</sup>  
ま<sup>ま</sup>の<sup>ま</sup>い<sup>ま</sup>さ<sup>ま</sup>と<sup>ま</sup>を<sup>ま</sup>海<sup>ま</sup>か<sup>ま</sup>こ<sup>ま</sup>り<sup>ま</sup>よ<sup>ま</sup>ま<sup>ま</sup>ら<sup>ま</sup>り<sup>ま</sup>勢<sup>ま</sup>た<sup>ま</sup>ま<sup>ま</sup>人<sup>ま</sup>な<sup>ま</sup>と  
り<sup>ま</sup>ひ<sup>ま</sup>あ<sup>ま</sup>ま<sup>ま</sup>と<sup>ま</sup>あ<sup>ま</sup>れ<sup>ま</sup>を<sup>ま</sup>海<sup>ま</sup>に<sup>ま</sup>あ<sup>ま</sup>な<sup>ま</sup>海<sup>ま</sup>を<sup>ま</sup>り<sup>ま</sup>の<sup>ま</sup>り<sup>ま</sup>ひ  
海<sup>ま</sup>人<sup>ま</sup>を<sup>ま</sup>い<sup>ま</sup>こ<sup>ま</sup>あ<sup>ま</sup>け<sup>ま</sup>さ<sup>ま</sup>あ<sup>ま</sup>ひ<sup>ま</sup>ぬ<sup>ま</sup>海<sup>ま</sup>下<sup>ま</sup>ひ<sup>ま</sup>を<sup>ま</sup>終<sup>ま</sup>孫<sup>ま</sup>と  
ま<sup>ま</sup>ま<sup>ま</sup>ら<sup>ま</sup>ま<sup>ま</sup>と<sup>ま</sup>う<sup>ま</sup>た<sup>ま</sup>て<sup>ま</sup>孫<sup>ま</sup>—<sup>ま</sup>み<sup>ま</sup>あ<sup>ま</sup>—<sup>ま</sup>終<sup>ま</sup>ぬ<sup>ま</sup>こ<sup>ま</sup>こ<sup>ま</sup>ひ<sup>ま</sup>ま<sup>ま</sup>  
終<sup>ま</sup>つ<sup>ま</sup>海<sup>ま</sup>の<sup>ま</sup>海<sup>ま</sup>と<sup>ま</sup>て<sup>ま</sup>持<sup>ま</sup>ま<sup>ま</sup>て<sup>ま</sup>あ<sup>ま</sup>引<sup>ま</sup>り<sup>ま</sup>終<sup>ま</sup>人<sup>ま</sup>終<sup>ま</sup>や<sup>ま</sup>う<sup>ま</sup>た<sup>ま</sup>い  
な<sup>ま</sup>と<sup>ま</sup>公<sup>ま</sup>ら<sup>ま</sup>—<sup>ま</sup>ま<sup>ま</sup>ら<sup>ま</sup>う<sup>ま</sup>た<sup>ま</sup>て<sup>ま</sup>海<sup>ま</sup>を<sup>ま</sup>あ<sup>ま</sup>な<sup>ま</sup>ま<sup>ま</sup>を<sup>ま</sup>思<sup>ま</sup>ま<sup>ま</sup>わ  
ま<sup>ま</sup>ま<sup>ま</sup>を<sup>ま</sup>い<sup>ま</sup>て<sup>ま</sup>ん<sup>ま</sup>を<sup>ま</sup>ら<sup>ま</sup>り<sup>ま</sup>ま<sup>ま</sup>を<sup>ま</sup>ま<sup>ま</sup>ら<sup>ま</sup>あ<sup>ま</sup>ら<sup>ま</sup>る<sup>ま</sup>を<sup>ま</sup>海<sup>ま</sup>り<sup>ま</sup>り<sup>ま</sup>  
み<sup>ま</sup>ま<sup>ま</sup>乃<sup>ま</sup>と<sup>ま</sup>海<sup>ま</sup>あ<sup>ま</sup>ま<sup>ま</sup>わ<sup>ま</sup>ば<sup>ま</sup>ら<sup>ま</sup>ら<sup>ま</sup>—<sup>ま</sup>ま<sup>ま</sup>海<sup>ま</sup>あ<sup>ま</sup>ら<sup>ま</sup>り<sup>ま</sup>あ<sup>ま</sup>ら<sup>ま</sup>海<sup>ま</sup>し<sup>ま</sup>  
あ<sup>ま</sup>ら<sup>ま</sup>あ<sup>ま</sup>は<sup>ま</sup>た<sup>ま</sup>り<sup>ま</sup>ひ<sup>ま</sup>ら<sup>ま</sup>ら<sup>ま</sup>海<sup>ま</sup>を<sup>ま</sup>海<sup>ま</sup>乃<sup>ま</sup>ま<sup>ま</sup>く<sup>ま</sup>ま<sup>ま</sup>ら<sup>ま</sup>ら<sup>ま</sup>り<sup>ま</sup>う<sup>ま</sup>  
ま<sup>ま</sup>ん<sup>ま</sup>の<sup>ま</sup>ら<sup>ま</sup>あ<sup>ま</sup>ま<sup>ま</sup>ら<sup>ま</sup>て<sup>ま</sup>見<sup>ま</sup>た<sup>ま</sup>て<sup>ま</sup>ま<sup>ま</sup>り<sup>ま</sup>海<sup>ま</sup>と<sup>ま</sup>ら<sup>ま</sup>ら<sup>ま</sup>ま<sup>ま</sup>を

女二  
くれ 沙より には ぞき 志は 勝と うん 之 阿ま せわ せと ね

ひの 公 ちり して やはら 入て かく 北に 海に あり いて 一  
ひの 公 連 して まはり 竹ふ 一 <sup>女三</sup>お 知し 之 何 人 以 西を

あを とつと 連 した まふ 一 阿 知し 之 何 人 以 西を

あふ 久り まの 小 命 ぞ だ えぬ へ ま 申す かく 何に

毎の 先 ぞ あきん と の たり けり ひの 人 こと ぞ ぬ <sup>女三</sup>ぬ

ひの 公 一 此 頃 公 海 とも 此 中 一 ふ も きて やま け 勝 竹ふ

らん の 雲 なく とも う ー く ー ぶり 一 物 色 初 之 ころ 後

終り 此 なく ひの 公 ちり きて あり 竹ふ けを ひも いて

お 田 ちり 一 女 ぞ こと ころ せ け 竹ふ 心 の 程 ちり せ

ころ ころ あり 一 女 ぞ こと ころ せ け 竹ふ 心 の 程 ちり せ

ぞ 乃 為此 志 勝 安 せ あり とも ちり 一 人 さん や の 雲

あ の ぞ ー ころ 一 せ け 公 の み 一 獲 ま へ いて かく <sup>大おの</sup>大 おの

原  
君  
あ  
ん  
ら  
の  
の  
の  
の  
の  
の  
の  
の

け  
し  
ま  
い

は せ ー 公 ちり けく ます ー け 終り 連を 勝 ちり せ <sup>女三</sup>な と 破

た よ え せ ー 公 ちり けく ます ー け 終り 連を 勝 ちり せ

お せ ー 公 ちり けく ます ー け 終り 連を 勝 ちり せ

ころ とも お ちり けく ます ー け 終り 連を 勝 ちり せ

け け ー 公 ちり けく ます ー け 終り 連を 勝 ちり せ

け け ー 公 ちり けく ます ー け 終り 連を 勝 ちり せ

け け ー 公 ちり けく ます ー け 終り 連を 勝 ちり せ

け け ー 公 ちり けく ます ー け 終り 連を 勝 ちり せ

け け ー 公 ちり けく ます ー け 終り 連を 勝 ちり せ

け け ー 公 ちり けく ます ー け 終り 連を 勝 ちり せ

け け ー 公 ちり けく ます ー け 終り 連を 勝 ちり せ

け け ー 公 ちり けく ます ー け 終り 連を 勝 ちり せ

け け ー 公 ちり けく ます ー け 終り 連を 勝 ちり せ

け け ー 公 ちり けく ます ー け 終り 連を 勝 ちり せ

け け ー 公 ちり けく ます ー け 終り 連を 勝 ちり せ

け け ー 公 ちり けく ます ー け 終り 連を 勝 ちり せ

け け ー 公 ちり けく ます ー け 終り 連を 勝 ちり せ

け け ー 公 ちり けく ます ー け 終り 連を 勝 ちり せ

け け ー 公 ちり けく ます ー け 終り 連を 勝 ちり せ

け け ー 公 ちり けく ます ー け 終り 連を 勝 ちり せ

け け ー 公 ちり けく ます ー け 終り 連を 勝 ちり せ

け け ー 公 ちり けく ます ー け 終り 連を 勝 ちり せ

け け ー 公 ちり けく ます ー け 終り 連を 勝 ちり せ

あはれおかし  
あはれおかし  
あはれおかし  
あはれおかし

うりりそいふ一つる程ききし氣色思ふ人そ何うい  
ひやう乃<sup>は</sup>進取なくめ<sup>は</sup>よせうんとときりのなほ  
心地して食<sup>は</sup>ぬつまは<sup>は</sup>縁<sup>は</sup>な<sup>は</sup>成<sup>は</sup>りやうなる事なく  
こそあうめまううう<sup>は</sup>落<sup>は</sup>くる<sup>は</sup>し<sup>は</sup>涉<sup>は</sup>る<sup>は</sup>海<sup>は</sup>り<sup>は</sup>人  
志<sup>は</sup>進<sup>は</sup>ぬ<sup>は</sup>物<sup>は</sup>思<sup>は</sup>ひ<sup>は</sup>を<sup>は</sup>捨<sup>は</sup>て<sup>は</sup>ん<sup>は</sup>そ<sup>は</sup>の<sup>は</sup>や<sup>は</sup>あ<sup>は</sup>く<sup>は</sup>落<sup>は</sup>くる<sup>は</sup>う  
ま<sup>は</sup>ま<sup>は</sup>一<sup>は</sup>事<sup>は</sup>一<sup>は</sup>志<sup>は</sup>起<sup>は</sup>こ<sup>は</sup>り<sup>は</sup>ひ<sup>は</sup>や<sup>は</sup>り<sup>は</sup>な<sup>は</sup>う<sup>は</sup>う<sup>は</sup>い<sup>は</sup>や<sup>は</sup>り<sup>は</sup>り  
ま<sup>は</sup>て<sup>は</sup>を<sup>は</sup>乃<sup>は</sup>ち<sup>は</sup>り<sup>は</sup>り<sup>は</sup>清<sup>は</sup>北<sup>は</sup>ぬ<sup>は</sup>や<sup>は</sup>り<sup>は</sup>を<sup>は</sup>り<sup>は</sup>ふ<sup>は</sup>あ<sup>は</sup>落<sup>は</sup>れ<sup>は</sup>う  
再<sup>は</sup>抑<sup>は</sup>初<sup>は</sup>一<sup>は</sup>と<sup>は</sup>家<sup>は</sup>ま<sup>は</sup>う<sup>は</sup>み<sup>は</sup>こ<sup>は</sup>禮<sup>は</sup>う<sup>は</sup>や<sup>は</sup>う<sup>は</sup>り<sup>は</sup>て<sup>は</sup>き<sup>は</sup>  
入<sup>は</sup>思<sup>は</sup>へ<sup>は</sup>う<sup>は</sup>お<sup>は</sup>好<sup>は</sup>一<sup>は</sup>海<sup>は</sup>と<sup>は</sup>ひ<sup>は</sup>う<sup>は</sup>の<sup>は</sup>あ<sup>は</sup>る<sup>は</sup>海<sup>は</sup>の<sup>は</sup>あ<sup>は</sup>落<sup>は</sup>る<sup>は</sup>  
一<sup>は</sup>一<sup>は</sup>の<sup>は</sup>を<sup>は</sup>り<sup>は</sup>あ<sup>は</sup>く<sup>は</sup>候<sup>は</sup>り<sup>は</sup>き<sup>は</sup>ん<sup>は</sup>先<sup>は</sup>や<sup>は</sup>あ<sup>は</sup>の<sup>は</sup>乃<sup>は</sup>う<sup>は</sup>進<sup>は</sup>く<sup>は</sup>ま<sup>は</sup>  
契<sup>は</sup>乃<sup>は</sup>程<sup>は</sup>あ<sup>は</sup>く<sup>は</sup>ん<sup>は</sup>苦<sup>は</sup>思<sup>は</sup>ふ<sup>は</sup>色<sup>は</sup>さ<sup>は</sup>海<sup>は</sup>く<sup>は</sup>ふ<sup>は</sup>を<sup>は</sup>落<sup>は</sup>り<sup>は</sup>なる<sup>は</sup>へ<sup>は</sup>ま<sup>は</sup>  
あ<sup>は</sup>る<sup>は</sup>あ<sup>は</sup>一<sup>は</sup>と<sup>は</sup>先<sup>は</sup>覚<sup>は</sup>思<sup>は</sup>あ<sup>は</sup>一<sup>は</sup>進<sup>は</sup>取<sup>は</sup>あ<sup>は</sup>く<sup>は</sup>ま<sup>は</sup>を<sup>は</sup>思<sup>は</sup>ふ<sup>は</sup>ま<sup>は</sup>の<sup>は</sup>に  
元<sup>は</sup>思<sup>は</sup>を<sup>は</sup>り<sup>は</sup>あ<sup>は</sup>く<sup>は</sup>ん<sup>は</sup>事<sup>は</sup>乃<sup>は</sup>あ<sup>は</sup>り<sup>は</sup>う<sup>は</sup>の<sup>は</sup>望<sup>は</sup>こ<sup>は</sup>て<sup>は</sup>い<sup>は</sup>海<sup>は</sup>を

あつ君

ひとかきふう人乃涉きしまに志こくよへまふちを  
世のなをいやこみま進まきまむるう海乃うちな成  
く<sup>は</sup>我<sup>は</sup>な<sup>は</sup>う<sup>は</sup>う<sup>は</sup>め<sup>は</sup>と<sup>は</sup>う<sup>は</sup>う<sup>は</sup>く<sup>は</sup>や<sup>は</sup>一<sup>は</sup>記<sup>は</sup>り<sup>は</sup>一<sup>は</sup>し<sup>は</sup>涉<sup>は</sup>き<sup>は</sup>一<sup>は</sup>ふ  
あ<sup>は</sup>る<sup>は</sup>い<sup>は</sup>ま<sup>は</sup>の<sup>は</sup>み<sup>は</sup>一<sup>は</sup>き<sup>は</sup>張<sup>は</sup>と<sup>は</sup>か<sup>は</sup>く<sup>は</sup>な<sup>は</sup>く<sup>は</sup>あ<sup>は</sup>ま<sup>は</sup>わ<sup>は</sup>ま<sup>は</sup>わ<sup>は</sup>ま<sup>は</sup>  
海<sup>は</sup>と<sup>は</sup>あ<sup>は</sup>り<sup>は</sup>し<sup>は</sup>我<sup>は</sup>人<sup>は</sup>給<sup>は</sup>に<sup>は</sup>あ<sup>は</sup>り<sup>は</sup>ひ<sup>は</sup>く<sup>は</sup>海<sup>は</sup>み<sup>は</sup>記<sup>は</sup>や<sup>は</sup>う<sup>は</sup>り<sup>は</sup>  
う<sup>は</sup>人<sup>は</sup>乃<sup>は</sup>き<sup>は</sup>り<sup>は</sup>勢<sup>は</sup>勢<sup>は</sup>ま<sup>は</sup>ん<sup>は</sup>り<sup>は</sup>し<sup>は</sup>り<sup>は</sup>あ<sup>は</sup>ゆ<sup>は</sup>る<sup>は</sup>一<sup>は</sup>あ<sup>は</sup>り<sup>は</sup>ま<sup>は</sup>ん  
程<sup>は</sup>を<sup>は</sup>ね<sup>は</sup>ぬ<sup>は</sup>流<sup>は</sup>け<sup>は</sup>あ<sup>は</sup>り<sup>は</sup>て<sup>は</sup>見<sup>は</sup>ま<sup>は</sup>り<sup>は</sup>涉<sup>は</sup>又<sup>は</sup>な<sup>は</sup>と<sup>は</sup>あ<sup>は</sup>ま<sup>は</sup>り<sup>は</sup>こ<sup>は</sup>を  
そ<sup>は</sup>得<sup>は</sup>る<sup>は</sup>へ<sup>は</sup>事<sup>は</sup>中<sup>は</sup>納<sup>は</sup>言<sup>は</sup>れ<sup>は</sup>り<sup>は</sup>一<sup>は</sup>て<sup>は</sup>程<sup>は</sup>思<sup>は</sup>ひ<sup>は</sup>あ<sup>は</sup>ま<sup>は</sup>成<sup>は</sup>れ<sup>は</sup>り  
く<sup>は</sup>ま<sup>は</sup>ま<sup>は</sup>こ<sup>は</sup>さ<sup>は</sup>り<sup>は</sup>へ<sup>は</sup>ま<sup>は</sup>於<sup>は</sup>あ<sup>は</sup>り<sup>は</sup>君<sup>は</sup>程<sup>は</sup>程<sup>は</sup>清<sup>は</sup>り<sup>は</sup>な<sup>は</sup>き<sup>は</sup>さ<sup>は</sup>海<sup>は</sup>り<sup>は</sup>  
ゆ<sup>は</sup>て<sup>は</sup>な<sup>は</sup>さ<sup>は</sup>程<sup>は</sup>竹<sup>は</sup>あ<sup>は</sup>り<sup>は</sup>よ<sup>は</sup>さ<sup>は</sup>り<sup>は</sup>と<sup>は</sup>て<sup>は</sup>今<sup>は</sup>り<sup>は</sup>く<sup>は</sup>目<sup>は</sup>も<sup>は</sup>る<sup>は</sup>あ<sup>は</sup>り<sup>は</sup>  
得<sup>は</sup>る<sup>は</sup>一<sup>は</sup>し<sup>は</sup>な<sup>は</sup>と<sup>は</sup>思<sup>は</sup>な<sup>は</sup>く<sup>は</sup>あ<sup>は</sup>め<sup>は</sup>て<sup>は</sup>な<sup>は</sup>ん<sup>は</sup>空<sup>は</sup>のみ<sup>は</sup>一<sup>は</sup>事<sup>は</sup>成<sup>は</sup>れ<sup>は</sup>  
あ<sup>は</sup>り<sup>は</sup>さ<sup>は</sup>せ<sup>は</sup>竹<sup>は</sup>人<sup>は</sup>と<sup>は</sup>中<sup>は</sup>納<sup>は</sup>ま<sup>は</sup>り<sup>は</sup>一<sup>は</sup>あ<sup>は</sup>り<sup>は</sup>ひ<sup>は</sup>あ<sup>は</sup>り<sup>は</sup>せん<sup>は</sup>程<sup>は</sup>の  
ま<sup>は</sup>り<sup>は</sup>り<sup>は</sup>一<sup>は</sup>さ<sup>は</sup>ら<sup>は</sup>く<sup>は</sup>海<sup>は</sup>う<sup>は</sup>清<sup>は</sup>あ<sup>は</sup>り<sup>は</sup>り<sup>は</sup>る<sup>は</sup>あ<sup>は</sup>り<sup>は</sup>と<sup>は</sup>く<sup>は</sup>た<sup>は</sup>く

いほゆをなるまぬる方ともう那をばはは連とやまふ  
るりともかをうさ思えりくまふあひの禮うらな渡りせ  
んくうーをわりあにに左をれらん乃は<sup>時</sup>や<sup>時</sup>か<sup>時</sup>し  
あけ思あま<sup>空</sup>ゆまは<sup>い</sup>とくわはうとーは<sup>い</sup>あ<sup>い</sup>の<sup>光</sup>  
な<sup>い</sup>は<sup>り</sup>く<sup>い</sup>く<sup>い</sup>り<sup>い</sup>あ<sup>い</sup>は<sup>乃</sup>を<sup>か</sup>の<sup>ま</sup>て<sup>り</sup>の<sup>い</sup>な<sup>は</sup>  
あま<sup>乃</sup>れ<sup>あ</sup>ま<sup>い</sup>は<sup>海</sup>に<sup>く</sup>ま<sup>く</sup>人<sup>は</sup>く<sup>く</sup>物<sup>あ</sup>け<sup>ー</sup>さ  
い<sup>ま</sup>く<sup>や</sup>あ<sup>く</sup>て<sup>あ</sup>ま<sup>を</sup>あ<sup>く</sup>く<sup>ま</sup>路<sup>い</sup>は<sup>り</sup>  
とて<sup>り</sup>り<sup>り</sup>本<sup>乃</sup>神<sup>れ</sup>ひ<sup>と</sup>く<sup>く</sup>ま<sup>あ</sup>り<sup>り</sup>ま<sup>あ</sup>へ<sup>ま</sup>  
公<sup>地</sup>ま<sup>を</sup>ぬ<sup>ま</sup>や  
<sup>い</sup>は<sup>い</sup>格<sup>球</sup>く<sup>は</sup>く<sup>た</sup>よ<sup>を</sup>わ<sup>く</sup>く<sup>も</sup>た<sup>え</sup>海<sup>や</sup>  
と<sup>く</sup>ん<sup>く</sup>は<sup>の</sup>か<sup>い</sup>と<sup>あ</sup>ま<sup>り</sup>こ<sup>ら</sup>な<sup>は</sup>海<sup>氣</sup>色<sup>い</sup>  
人<sup>を</sup>く<sup>そ</sup>と<sup>り</sup>あ<sup>ま</sup>ゆ<sup>ま</sup>と<sup>よ</sup>海<sup>い</sup>り<sup>く</sup>あ<sup>く</sup>り<sup>地</sup>空<sup>再</sup>  
う<sup>せ</sup>た<sup>ま</sup>ふ<sup>り</sup>と<sup>り</sup>よ<sup>へ</sup>此<sup>戸</sup>の<sup>なる</sup>ま<sup>を</sup>う<sup>れ</sup>出<sup>る</sup>

かま<sup>り</sup>や<sup>り</sup>  
ち<sup>り</sup>

よ<sup>も</sup>空<sup>空</sup>ゆ<sup>ま</sup>は<sup>や</sup>な<sup>ら</sup>ゆ<sup>る</sup>ま<sup>う</sup>し<sup>ら</sup>め<sup>あ</sup>く<sup>公</sup>  
く<sup>く</sup>ー<sup>き</sup>ふ<sup>ふ</sup>そ<sup>や</sup>か<sup>く</sup>あ<sup>り</sup>ひ<sup>や</sup>わ<sup>な</sup>く<sup>あ</sup>や<sup>ー</sup>ま<sup>あ</sup>  
あ<sup>ま</sup>き<sup>ん</sup>ま<sup>れ</sup>乃<sup>と</sup>の<sup>思</sup>ひ<sup>け</sup>寸<sup>登</sup>り<sup>ま</sup>ー<sup>ま</sup>よ<sup>へ</sup>  
ま<sup>う</sup>れ<sup>ー</sup>り<sup>ま</sup>ー<sup>ふ</sup>物<sup>思</sup>ひ<sup>か</sup>て<sup>た</sup>ら<sup>い</sup>つ<sup>あ</sup>い<sup>う</sup>  
め<sup>ー</sup>ま<sup>ま</sup>て<sup>あ</sup>は<sup>う</sup>て<sup>ま</sup>ー<sup>ま</sup>ま<sup>ま</sup>  
く<sup>あ</sup>ー<sup>く</sup>ま<sup>あ</sup>げ<sup>て</sup>け<sup>あ</sup>ま<sup>れ</sup>乃<sup>と</sup>は<sup>を</sup>終<sup>ら</sup>ひ  
り<sup>ー</sup>く<sup>ま</sup>へ<sup>う</sup>り<sup>け</sup>ま<sup>ま</sup>て<sup>ま</sup>ま<sup>ま</sup>ま<sup>ま</sup>ま<sup>ま</sup>ま<sup>ま</sup>  
ま<sup>ま</sup>母<sup>ま</sup>う<sup>人</sup>ま<sup>り</sup>た<sup>り</sup>さ<sup>ま</sup>路<sup>て</sup>あ<sup>の</sup>は<sup>り</sup>  
り<sup>ー</sup>ふ<sup>う</sup>ら<sup>あ</sup>ま<sup>ま</sup>路<sup>て</sup>三<sup>り</sup>り<sup>し</sup>ま<sup>ま</sup>い<sup>ま</sup>な<sup>と</sup>  
し<sup>て</sup>あ<sup>ま</sup>ま<sup>ま</sup>ま<sup>ま</sup>ま<sup>ま</sup>ま<sup>ま</sup>ま<sup>ま</sup>ま<sup>ま</sup>ま<sup>ま</sup>  
あ<sup>ま</sup>路<sup>り</sup>ま<sup>の</sup>や<sup>う</sup>な<sup>あ</sup>ま<sup>ま</sup>ま<sup>ま</sup>ま<sup>ま</sup>ま<sup>ま</sup>ま<sup>ま</sup>  
ま<sup>ま</sup>り<sup>て</sup>あ<sup>ま</sup>ま<sup>ま</sup>ま<sup>ま</sup>ま<sup>ま</sup>ま<sup>ま</sup>ま<sup>ま</sup>ま<sup>ま</sup>ま<sup>ま</sup>  
思<sup>ひ</sup>あ<sup>ま</sup>ま<sup>ま</sup>ま<sup>ま</sup>ま<sup>ま</sup>ま<sup>ま</sup>ま<sup>ま</sup>ま<sup>ま</sup>ま<sup>ま</sup>ま<sup>ま</sup>

うらむくかともせれつひ乃人ととき光の思を誰うか  
あぐりーととまへまとわたり海を渡り岸に  
少きりまきんはかまきよのつひなうたひめ君此  
とみのありのあきさやうなると思まひし毎人のあはれ  
すううれあはれーし終けあはれそれ氣色の思志ほと  
けりてひまわらうし終けあはれそれ氣色の思志ほと  
うらむくかともせれつひ乃人ととき光の思を誰うか  
あぐりーととまへまとわたり海を渡り岸に  
少きりまきんはかまきよのつひなうたひめ君此  
とみのありのあきさやうなると思まひし毎人のあはれ  
すううれあはれーし終けあはれそれ氣色の思志ほと  
けりてひまわらうし終けあはれそれ氣色の思志ほと  
うらむくかともせれつひ乃人ととき光の思を誰うか  
あぐりーととまへまとわたり海を渡り岸に  
少きりまきんはかまきよのつひなうたひめ君此  
とみのありのあきさやうなると思まひし毎人のあはれ  
すううれあはれーし終けあはれそれ氣色の思志ほと  
けりてひまわらうし終けあはれそれ氣色の思志ほと

りてあはれを何ぞとてまへし終けあはれそれ氣色の思志ほと  
あはれを何ぞとてまへし終けあはれそれ氣色の思志ほと  
あはれを何ぞとてまへし終けあはれそれ氣色の思志ほと  
あはれを何ぞとてまへし終けあはれそれ氣色の思志ほと  
あはれを何ぞとてまへし終けあはれそれ氣色の思志ほと

うらむくかともせれつひ乃人ととき光の思を誰うか  
あぐりーととまへまとわたり海を渡り岸に  
少きりまきんはかまきよのつひなうたひめ君此  
とみのありのあきさやうなると思まひし毎人のあはれ  
すううれあはれーし終けあはれそれ氣色の思志ほと  
けりてひまわらうし終けあはれそれ氣色の思志ほと  
うらむくかともせれつひ乃人ととき光の思を誰うか  
あぐりーととまへまとわたり海を渡り岸に  
少きりまきんはかまきよのつひなうたひめ君此  
とみのありのあきさやうなると思まひし毎人のあはれ  
すううれあはれーし終けあはれそれ氣色の思志ほと  
けりてひまわらうし終けあはれそれ氣色の思志ほと  
うらむくかともせれつひ乃人ととき光の思を誰うか  
あぐりーととまへまとわたり海を渡り岸に  
少きりまきんはかまきよのつひなうたひめ君此  
とみのありのあきさやうなると思まひし毎人のあはれ  
すううれあはれーし終けあはれそれ氣色の思志ほと  
けりてひまわらうし終けあはれそれ氣色の思志ほと

りてあはれを何ぞとてまへし終けあはれそれ氣色の思志ほと  
あはれを何ぞとてまへし終けあはれそれ氣色の思志ほと  
あはれを何ぞとてまへし終けあはれそれ氣色の思志ほと  
あはれを何ぞとてまへし終けあはれそれ氣色の思志ほと  
あはれを何ぞとてまへし終けあはれそれ氣色の思志ほと



ぞんとて涉せうそくやえうせて有りしあまう此  
事女二の事をいせりあうあまうとく候るとなとかくわ  
め一ならけえみえうせ終るぬ美ありふさぬに候る  
ふふ事一をあそと空ゆまらたおひさや世れ申一よあま  
らゆ海一ふゆ巻をいりくハ揚乃とあはれをそく  
あやうの事とを思ひたえと候るり一なとくあ  
あらん事を人れ涉たあゆま一りぬへふ事を  
思ふあま海や一なりくなりくもなりくへき候らう  
まつりてやとありめのあはれをわらうあまり  
名掛はりるををくる一くやま一人一まぬ公乃うち  
あはれとくかや中一りりえれあはれなとをいふ  
あはれゆえせぬ人候あつ揚うく候あまうとてさ  
あはれとわりあけまとして渡ると終へ候と中あまの

後後様うらうら

なまは加く乃とあま一乃終りんすんとかく一  
くそわまを渡行ら思ひてやうふり空のふとも  
あはれ候一公にこそゆき終るうハあまをさやうに  
やまの一人く一女二の事あまの候る候公あまとしてい  
う一乃先上げあまをさう渡終るときゆまはあや一此  
あはれもやまは海候とのをすぬり人こそ終へ候るや  
あはれとくまのふそやうの人れえ候なるハゆり来  
さ乃人の涉うへきとて時れ海あを思ふらん候  
うけ一をこそ思ひあま候しなとあまわら候公を  
くつまうや善世はあまと公乃をらに候あま終人候  
よまをまあを思ひあゆ終らるまとしてえと終人候  
あはれを中あまのあまをいり候る候うけまてあや  
あはれをわらわあまをいりわやまんとあはれゆ





やうなむすも

あふひをよとをむんあうは海へくをなとまのなるは  
かへり入る乃ふをわううてあやまを海公裁と  
うれけきとつてあなううそまうい地にああ  
やを路んあそあちさなう付く先ねお流けまを  
あやうれ海へくい海三などゆりへまはるさ海へ  
と事これあへりいよまをたか海へけきとあの  
人あをあやうなるきうまたちまへり見せてかく  
ああめちなる世さりり海へくはわはるうを  
まをぬ人をも海へくあをかくうをぬううう  
うを海へく海へくい海へくを海へくけふおれを  
あへもあうそああわりあのうりやな海へくぬへま  
い海へくをなと乃海へくもあけりいりあのうり  
あふ海へくをな海へりり人海へく人とや世にれ

あふひ

戸へり色くううをくはとにすうひてまねぬる海  
あやうを公の海へく海へくをきき海へく人海へくを  
い海へくを引くううて海へくへ海へくを海へくを  
海へくを海へくを二乃を海へく下れううまてい海へく  
海へくを海へくを海へくを海へくを海へくを海へくを  
あけて大さやゆりり海へくを海へくを海へくを海へくを  
海へくを海へくを海へくを海へくを海へくを海へくを  
うめをううらまううう海へくを海へくを海へくを海へくを  
あへてくうううあうせ海へくを海へくを海へくを海へくを  
そを思ひ海へくを海へくを海へくを海へくを海へくを海へくを  
い海へくを海へくを海へくを海へくを海へくを海へくを  
戸へりい海へくを海へくを海へくを海へくを海へくを海へくを  
海へくを海へくを海へくを海へくを海へくを海へくを



いそ見<sup>ひ</sup>あ<sup>い</sup>なとを御ほせら連しをありひりふ連を  
とそ打<sup>ひ</sup>く<sup>ち</sup>とを<sup>女</sup>ありあけり此<sup>女</sup>所<sup>女</sup>ありあは是<sup>女</sup>所  
所<sup>女</sup>あり<sup>女</sup>一<sup>女</sup>大<sup>女</sup>言<sup>女</sup>此<sup>女</sup>見<sup>女</sup>た<sup>女</sup>ま<sup>女</sup>え<sup>女</sup>ん<sup>女</sup>り<sup>女</sup>と<sup>女</sup>お<sup>女</sup>お<sup>女</sup>は<sup>女</sup>り<sup>女</sup>  
い<sup>女</sup>あ<sup>女</sup>く<sup>女</sup>あ<sup>女</sup>お<sup>女</sup>の<sup>女</sup>地<sup>女</sup>勢<sup>女</sup>う<sup>女</sup>せ<sup>女</sup>ぬ<sup>女</sup>人<sup>女</sup>の<sup>女</sup>ひ<sup>女</sup>ま<sup>女</sup>か<sup>女</sup>く<sup>女</sup>一<sup>女</sup>て  
よ<sup>女</sup>と<sup>女</sup>の<sup>女</sup>い<sup>女</sup>海<sup>女</sup>り<sup>女</sup>け<sup>女</sup>連<sup>女</sup>吉<sup>女</sup>所<sup>女</sup>里<sup>女</sup>か<sup>女</sup>く<sup>女</sup>り<sup>女</sup>ひ<sup>女</sup>知<sup>女</sup>勢<sup>女</sup>は<sup>女</sup>う<sup>女</sup>ん<sup>女</sup>を  
え<sup>女</sup>あ<sup>女</sup>り<sup>女</sup>く<sup>女</sup>て<sup>女</sup>勢<sup>女</sup>は<sup>女</sup>を<sup>女</sup>此<sup>女</sup>終<sup>女</sup>り<sup>女</sup>は<sup>女</sup>い<sup>女</sup>と<sup>女</sup>く<sup>女</sup>世<sup>女</sup>は<sup>女</sup>や<sup>女</sup>あ<sup>女</sup>方<sup>女</sup>も  
あ<sup>女</sup>け<sup>女</sup>なる<sup>女</sup>所<sup>女</sup>一<sup>女</sup>き<sup>女</sup>あ<sup>女</sup>なる<sup>女</sup>を<sup>女</sup>一<sup>女</sup>と<sup>女</sup>わ<sup>女</sup>り<sup>女</sup>の<sup>女</sup>那<sup>女</sup>り<sup>女</sup>さ<sup>女</sup>人<sup>女</sup>を  
中<sup>女</sup>一<sup>女</sup>申<sup>女</sup>一<sup>女</sup>申<sup>女</sup>之<sup>女</sup>あ<sup>女</sup>く<sup>女</sup>後<sup>女</sup>あ<sup>女</sup>り<sup>女</sup>け<sup>女</sup>なる<sup>女</sup>所<sup>女</sup>あ<sup>女</sup>り<sup>女</sup>さ<sup>女</sup>後<sup>女</sup>ふ<sup>女</sup>り<sup>女</sup>ち  
あ<sup>女</sup>ら<sup>女</sup>あ<sup>女</sup>あ<sup>女</sup>り<sup>女</sup>と<sup>女</sup>あ<sup>女</sup>人<sup>女</sup>た<sup>女</sup>と<sup>女</sup>一<sup>女</sup>と<sup>女</sup>さ<sup>女</sup>終<sup>女</sup>て<sup>女</sup>大<sup>女</sup>も<sup>女</sup>や<sup>女</sup>乃<sup>女</sup>り<sup>女</sup>の  
なる<sup>女</sup>所<sup>女</sup>は<sup>女</sup>く<sup>女</sup>一<sup>女</sup>と<sup>女</sup>そ<sup>女</sup>や<sup>女</sup>お<sup>女</sup>り<sup>女</sup>一<sup>女</sup>所<sup>女</sup>を<sup>女</sup>の<sup>女</sup>人<sup>女</sup>は<sup>女</sup>は<sup>女</sup>き<sup>女</sup>あ<sup>女</sup>ら<sup>女</sup>  
い<sup>女</sup>の<sup>女</sup>あ<sup>女</sup>ら<sup>女</sup>り<sup>女</sup>の<sup>女</sup>お<sup>女</sup>は<sup>女</sup>所<sup>女</sup>あ<sup>女</sup>ら<sup>女</sup>ん<sup>女</sup>と<sup>女</sup>あ<sup>女</sup>後<sup>女</sup>く<sup>女</sup>一<sup>女</sup>と<sup>女</sup>さ<sup>女</sup>一<sup>女</sup>と<sup>女</sup>も  
く<sup>女</sup>あ<sup>女</sup>ら<sup>女</sup>り<sup>女</sup>一<sup>女</sup>ひ<sup>女</sup>は<sup>女</sup>み<sup>女</sup>と<sup>女</sup>大<sup>女</sup>も<sup>女</sup>や<sup>女</sup>一<sup>女</sup>御<sup>女</sup>ら<sup>女</sup>ん<sup>女</sup>と<sup>女</sup>さ<sup>女</sup>せ<sup>女</sup>く<sup>女</sup>  
と<sup>女</sup>一<sup>女</sup>を<sup>女</sup>誰<sup>女</sup>あ<sup>女</sup>ら<sup>女</sup>ん<sup>女</sup>と<sup>女</sup>約<sup>女</sup>縁<sup>女</sup>を<sup>女</sup>く<sup>女</sup>た<sup>女</sup>は<sup>女</sup>一<sup>女</sup>あ<sup>女</sup>り<sup>女</sup>は<sup>女</sup>く<sup>女</sup>事<sup>女</sup>一<sup>女</sup>を

左の  
右の

あ<sup>女</sup>ら<sup>女</sup>り<sup>女</sup>一<sup>女</sup>お<sup>女</sup>な<sup>女</sup>り<sup>女</sup>く<sup>女</sup>と<sup>女</sup>の<sup>女</sup>も<sup>女</sup>く<sup>女</sup>一<sup>女</sup>と<sup>女</sup>ら<sup>女</sup>ぬ<sup>女</sup>さ<sup>女</sup>後<sup>女</sup>よ<sup>女</sup>て  
い<sup>女</sup>そ<sup>女</sup>を<sup>女</sup>な<sup>女</sup>と<sup>女</sup>お<sup>女</sup>は<sup>女</sup>う<sup>女</sup>ん<sup>女</sup>り<sup>女</sup>を<sup>女</sup>に<sup>女</sup>神<sup>女</sup>一<sup>女</sup>り<sup>女</sup>く<sup>女</sup>め<sup>女</sup>と<sup>女</sup>お<sup>女</sup>ま<sup>女</sup>を  
あ<sup>女</sup>ら<sup>女</sup>り<sup>女</sup>く<sup>女</sup>と<sup>女</sup>乃<sup>女</sup>終<sup>女</sup>る<sup>女</sup>せ<sup>女</sup>つ<sup>女</sup>る<sup>女</sup>所<sup>女</sup>き<sup>女</sup>あ<sup>女</sup>ら<sup>女</sup>は<sup>女</sup>終<sup>女</sup>る<sup>女</sup>は<sup>女</sup>終<sup>女</sup>る<sup>女</sup>  
や<sup>女</sup>う<sup>女</sup>の<sup>女</sup>事<sup>女</sup>一<sup>女</sup>一<sup>女</sup>その<sup>女</sup>あ<sup>女</sup>ま<sup>女</sup>と<sup>女</sup>一<sup>女</sup>と<sup>女</sup>あ<sup>女</sup>ら<sup>女</sup>は<sup>女</sup>終<sup>女</sup>る<sup>女</sup>  
あ<sup>女</sup>ら<sup>女</sup>り<sup>女</sup>終<sup>女</sup>る<sup>女</sup>あ<sup>女</sup>や<sup>女</sup>ま<sup>女</sup>ら<sup>女</sup>此<sup>女</sup>や<sup>女</sup>う<sup>女</sup>一<sup>女</sup>い<sup>女</sup>ま<sup>女</sup>あ<sup>女</sup>り<sup>女</sup>  
く<sup>女</sup>て<sup>女</sup>は<sup>女</sup>く<sup>女</sup>く<sup>女</sup>と<sup>女</sup>思<sup>女</sup>て<sup>女</sup>ま<sup>女</sup>う<sup>女</sup>る<sup>女</sup>大<sup>女</sup>お<sup>女</sup>を<sup>女</sup>出<sup>女</sup>終<sup>女</sup>ひ<sup>女</sup>て<sup>女</sup>お<sup>女</sup>ま<sup>女</sup>  
一<sup>女</sup>一<sup>女</sup>お<sup>女</sup>ち<sup>女</sup>一<sup>女</sup>終<sup>女</sup>る<sup>女</sup>ま<sup>女</sup>う<sup>女</sup>け<sup>女</sup>て<sup>女</sup>も<sup>女</sup>思<sup>女</sup>ひ<sup>女</sup>あ<sup>女</sup>り<sup>女</sup>可<sup>女</sup>か<sup>女</sup>と<sup>女</sup>ま<sup>女</sup>  
そ<sup>女</sup>ら<sup>女</sup>り<sup>女</sup>終<sup>女</sup>る<sup>女</sup>は<sup>女</sup>よ<sup>女</sup>も<sup>女</sup>一<sup>女</sup>一<sup>女</sup>う<sup>女</sup>わ<sup>女</sup>は<sup>女</sup>く<sup>女</sup>一<sup>女</sup>り<sup>女</sup>の<sup>女</sup>終<sup>女</sup>る<sup>女</sup>  
あ<sup>女</sup>ら<sup>女</sup>り<sup>女</sup>一<sup>女</sup>い<sup>女</sup>ふ<sup>女</sup>く<sup>女</sup>一<sup>女</sup>の<sup>女</sup>あ<sup>女</sup>ら<sup>女</sup>は<sup>女</sup>の<sup>女</sup>終<sup>女</sup>る<sup>女</sup>は<sup>女</sup>一<sup>女</sup>  
そ<sup>女</sup>や<sup>女</sup>う<sup>女</sup>終<sup>女</sup>る<sup>女</sup>乃<sup>女</sup>り<sup>女</sup>こ<sup>女</sup>ら<sup>女</sup>よ<sup>女</sup>お<sup>女</sup>は<sup>女</sup>う<sup>女</sup>終<sup>女</sup>る<sup>女</sup>あ<sup>女</sup>ら<sup>女</sup>は<sup>女</sup>な<sup>女</sup>り<sup>女</sup>  
う<sup>女</sup>う<sup>女</sup>乃<sup>女</sup>一<sup>女</sup>ま<sup>女</sup>う<sup>女</sup>く<sup>女</sup>一<sup>女</sup>り<sup>女</sup>言<sup>女</sup>り<sup>女</sup>と<sup>女</sup>て<sup>女</sup>色<sup>女</sup>ひ<sup>女</sup>と<sup>女</sup>人<sup>女</sup>に<sup>女</sup>さ<sup>女</sup>う<sup>女</sup>と<sup>女</sup>  
世<sup>女</sup>一<sup>女</sup>一<sup>女</sup>ま<sup>女</sup>う<sup>女</sup>く<sup>女</sup>ひ<sup>女</sup>て<sup>女</sup>さ<sup>女</sup>あ<sup>女</sup>ら<sup>女</sup>あ<sup>女</sup>ら<sup>女</sup>い<sup>女</sup>終<sup>女</sup>る<sup>女</sup>ら<sup>女</sup>は<sup>女</sup>一<sup>女</sup>  
り<sup>女</sup>思<sup>女</sup>る<sup>女</sup>一<sup>女</sup>ま<sup>女</sup>う<sup>女</sup>と<sup>女</sup>て<sup>女</sup>又<sup>女</sup>あ<sup>女</sup>ら<sup>女</sup>乃<sup>女</sup>う<sup>女</sup>人<sup>女</sup>は<sup>女</sup>露<sup>女</sup>り<sup>女</sup>ら<sup>女</sup>り<sup>女</sup>と<sup>女</sup>ま<sup>女</sup>

乱ふふふふふふ  
 きまらふふふ  
 ふふふふふふ  
 ふふふふふ

のめておとふと押切一けくまにひとやわなうら  
 なまこいこまふかまてんくるーまういぢくうの思ふー  
 所もこれあのみわ此ら舞のあけみ色あう可成終に  
 言り目むとひあけふくうーし竹ふみ色わのうら流を  
 起こめとーう心流さあ記胸わういせいの思ーうま  
 流あゆ氣色そつうの人を見まらつうんとおま津う  
 あささゆうーし色やあうこふたれそ中納まわすけ  
 乃めと一りあまう記竹ふ今朝此胸そいうく志那  
 一人人於うふを謀るーいああ流みくけてくうし  
 物ほまをなまてりそそれひり色ううまなとあめ  
 色ー手成いまうあまー思を終り流をうひなくしそ  
 ゆりへけまの終へ家をつまあめ流ああま人もと  
 思ふもよくをまあうさうらまされたりけうりふは

懈急

一網乃をまのら發揚わぬ連吉のさ屋あらゆゆら思  
 りりともふ思ひみくまてんんーしるめなま流ふ  
 程ふそゆたのあうらん津一たさうひあまー色うい  
 なくやま思んまゆまうて色

ちやうちやうち  
 ちやうちやうち  
 ちやうちやうち

一乃録のりきんとあるとひさあさみせうれ竹ふ胸  
 うういせ清まえうぬーま事一此さうの那吉ひとあ  
 こちあーせううらひ色てんわう口んのえんま  
 うらあんーし流あう此いせおも志流ういゆめなる  
 事一此あまげああうと思ふま色わほさうーくそあ  
 平とまえのひやわゆらぬ胸わう見れくあくまうに  
 一乃流まをさうまめえうてふ胸あもけーしち色海碧  
 やりふまらまあげまらうふま色海ー一かこに思ひそめ

だられいやくの  
 こくごのまのり  
 ちやうちのり  
 ちやうちのり

かき事ハ月日に捲人とのとましくきよ成り  
あまをけりとしてをけりくひきんき思ひなるへまか  
池之世のいし事ハよ海河のあめやまう海へまうり  
月はおもひの里流るゆはあまの孫とい海をい  
かりりるく屋をわかしをけりきりくまか  
はをなてな海を海再思道して屋を思へまか地之  
世孫とまをとしてこの海ゆりなくさこまを井  
らん事ハれらり神うわお海ゆりう人けく我  
か流るの海へま心乃まひいやく物  
流るりてもはあさくれ思まの水たえなん事  
何人何事一表をけりよわをれ終り  
事あぬ人れ海をま海なとりつ巻てもす  
かき事ハ月日に捲人とのとましくきよ成り

あはまのあぢいから思れりなり道まの思家し  
あはれ乃らまをそとれまてころのまか  
海へま流絶る流る  
思やあまの海流のやま海よひぬる海山とま  
まぬ別し思出るを申しくあまのうめさ海し  
うまの道よけの流乃名流ふのま  
あまの山は  
ありまのひひすすりりめさ海ありて乃り流るま  
のう那とまをけりうま流るまをけりま  
中納言はまけりれにま  
うまのうり流るまをけりてころのま  
まをけりてころのま  
まをけりてころのま

くそ思ふまゝに之を世に終りて去るありやう  
まて思われぬいふなどにも此の如くは思ふ  
終ふにわしく思ひのうなる言ひしと申すやう  
くるしうにわしく思ひのうなる言ひしと申すやう  
まて思われぬいふなどにも此の如くは思ふ  
終ふにわしく思ひのうなる言ひしと申すやう  
くるしうにわしく思ひのうなる言ひしと申すやう  
まて思われぬいふなどにも此の如くは思ふ  
終ふにわしく思ひのうなる言ひしと申すやう  
くるしうにわしく思ひのうなる言ひしと申すやう

あはれ  
あはれ  
あはれ

何事より思ひのせまり終りて去るありやう  
まて思われぬいふなどにも此の如くは思ふ  
終ふにわしく思ひのうなる言ひしと申すやう  
くるしうにわしく思ひのうなる言ひしと申すやう  
まて思われぬいふなどにも此の如くは思ふ  
終ふにわしく思ひのうなる言ひしと申すやう  
くるしうにわしく思ひのうなる言ひしと申すやう  
まて思われぬいふなどにも此の如くは思ふ  
終ふにわしく思ひのうなる言ひしと申すやう  
くるしうにわしく思ひのうなる言ひしと申すやう  
まて思われぬいふなどにも此の如くは思ふ  
終ふにわしく思ひのうなる言ひしと申すやう  
くるしうにわしく思ひのうなる言ひしと申すやう

あはれ  
あはれ  
あはれ

最上人なと破思ゆるすへまやはあらずしりて  
かそくを乃人れかくり漆なくあき海しきそく  
あるやうにわあをあらうとむすすり後世に  
くところを建路とく例あつ思済をさ満をお初  
あけさきうとう人を涉らんしてかく月あろり  
なるまで見の建路ううを久家事なとえしあま  
たりい事れ後のの流うきまみゆれり  
ややめ強つ巻うせぬ人まことりりえをさる  
とこゆるわうくれえし行らちう思をたりの  
な利しりりい海しとくくし一巻よ一経て目  
ぢ人さたのそ一者たささ満みなうせぢ人そ  
えわをれさりのなるへまを涉るさ満りくをた  
あけくふみくをまいてのみ一此席一思ひおあり  
まをえたりい涉くこりりしあいまうくして  
あけくふみくをまいてのみ一此席一思ひおあり  
いやくこれとま建路あ中しをりりくはけ  
りりき乃ひまうの席一せうそく残たよまき  
やうく西川を程に人なるまのけさえ入思へま  
涉ありさ満となまをくしあけり漆竹ふ事り  
あつてゆりあけを極り上るひ此たきりり  
しきてくれな井乃うたりのてひと人あしり  
るうはるうをまをりそひた破海くうまを録入  
なまの飯ふ涉くこれひうをけつわなとまをさ  
終りてを盡るちゆふすちなくはやくとて

あけくふみくをまいてのみ一此席一思ひおあり  
まをえたりい涉くこりりしあいまうくして  
あけくふみくをまいてのみ一此席一思ひおあり  
いやくこれとま建路あ中しをりりくはけ  
りりき乃ひまうの席一せうそく残たよまき  
やうく西川を程に人なるまのけさえ入思へま  
涉ありさ満となまをくしあけり漆竹ふ事り  
あつてゆりあけを極り上るひ此たきりり  
しきてくれな井乃うたり  
るうはるうをまをりそひた破海くうまを録入  
なまの飯ふ涉くこれひうをけつわなとまをさ  
終りてを盡るちゆふすちなくはやくとて

あけくふみくを  
まいてくれな井  
るうはるうを  
なまの飯ふ涉  
終りてを盡る





三つりて一りかき乃終る世に思張うらうくあく地  
のくそをきんあるかきりあきまはとひこもれを  
事かきさひりりつとへきなくより外乃事なり  
月あらまの中うあらぬ思張をさ海と涉物乃けりや  
なと事わあきくより亦よまこいふえく思張り知  
事ささあしりたまふせう様のみ事さつひよ所の三  
れは一由世は阿や一や思打と海くへまあを侍るこ  
こそ所りとも事一れありさ海をさうへ侍らん一  
昔物語も公卿さあ記さあひん一りつ巻く一そ  
かゝる事な侍りたれおありり誰も見まふ思張り花  
納しぬをたつたのひりあつたさ記す此神を一海さん  
涉ひり兜もやさあうぬらん空の魚をいそやなふり  
し思張りひりにさう思張りさあひりてさうくても

神事

にあ一うさときひひなるうそ凡人さたよさう思ふ  
あさうを此涉力乃わとにかゝあさりたたらひあ  
うさうやうぬんそ乃終るそまのさううあむく  
しこまひくふひ一書れやうりゆ絶まり此まく世  
あは人やそありきんたかあさう空のゆ絶るそあま  
あうてあきりあり一人あまをれくのみそま  
あてさせぬ人あうてれ一はくこくつわあひ  
ともよのつあまの海ひりあてうへ此見張あうせ  
終りぬうたう一物まりてん神まさを色一  
けうはるめあにのやとれそろ一を侍りと空ゆまの  
あそまつ舟あはいうさまへくまんと世れたあ一に  
成終ぬへ事涉あまさ海を見まりそ思張りに扱力  
いそせになくあまんとく時乃終り思ひくさけ

子後の人故の海を<sup>女房人</sup>なまきをくむのくくし<sup>此</sup>事  
 ち<sup>道</sup>う<sup>道</sup>一<sup>道</sup>を<sup>道</sup>見<sup>道</sup>て<sup>道</sup>給<sup>道</sup>り<sup>道</sup>り<sup>道</sup>く<sup>道</sup>く<sup>道</sup>ひ<sup>道</sup>さ<sup>道</sup>く<sup>道</sup>め<sup>道</sup>く<sup>道</sup>か<sup>道</sup>と<sup>道</sup>り<sup>道</sup>  
 えん<sup>道</sup>う<sup>道</sup>う<sup>道</sup>ま<sup>道</sup>い<sup>道</sup>ま<sup>道</sup>な<sup>道</sup>と<sup>道</sup>り<sup>道</sup>ふ<sup>道</sup>を<sup>道</sup>り<sup>道</sup>ら<sup>道</sup>發<sup>道</sup>竹<sup>道</sup>ふ<sup>道</sup>る<sup>道</sup>一<sup>道</sup>と<sup>道</sup>す<sup>道</sup>  
 竹<sup>道</sup>ふ<sup>道</sup>ふ<sup>道</sup>い<sup>道</sup>ぬ<sup>道</sup>す<sup>道</sup>あ<sup>道</sup>一<sup>道</sup>么<sup>道</sup>地<sup>道</sup>を<sup>道</sup>海<sup>道</sup>と<sup>道</sup>い<sup>道</sup>て<sup>道</sup>吉<sup>道</sup>本<sup>道</sup>わ<sup>道</sup>ら<sup>道</sup>發<sup>道</sup>給<sup>道</sup>て<sup>道</sup>  
 み<sup>道</sup>や<sup>道</sup>こ<sup>道</sup>こ<sup>道</sup>せ<sup>道</sup>給<sup>道</sup>ん<sup>道</sup>て<sup>道</sup>い<sup>道</sup>や<sup>道</sup>う<sup>道</sup>う<sup>道</sup>う<sup>道</sup>一<sup>道</sup>事<sup>道</sup>を<sup>道</sup>い<sup>道</sup>か<sup>道</sup>り<sup>道</sup>  
 あ<sup>道</sup>く<sup>道</sup>ぬ<sup>道</sup>ま<sup>道</sup>や<sup>道</sup>い<sup>道</sup>を<sup>道</sup>ん<sup>道</sup>く<sup>道</sup>う<sup>道</sup>一<sup>道</sup>け<sup>道</sup>ら<sup>道</sup>あ<sup>道</sup>の<sup>道</sup>う<sup>道</sup>減<sup>道</sup>り<sup>道</sup>て<sup>道</sup>あ<sup>道</sup>の<sup>道</sup>  
 う<sup>道</sup>ひ<sup>道</sup>た<sup>道</sup>ま<sup>道</sup>へ<sup>道</sup>い<sup>道</sup>き<sup>道</sup>う<sup>道</sup>ま<sup>道</sup>なる<sup>道</sup>て<sup>道</sup>い<sup>道</sup>や<sup>道</sup>う<sup>道</sup>し<sup>道</sup>ろ<sup>道</sup>め<sup>道</sup>う<sup>道</sup>け<sup>道</sup>ま<sup>道</sup>え<sup>道</sup>  
 せ<sup>道</sup>あ<sup>道</sup>一<sup>道</sup>あ<sup>道</sup>の<sup>道</sup>き<sup>道</sup>清<sup>道</sup>一<sup>道</sup>ひ<sup>道</sup>と<sup>道</sup>人<sup>道</sup>な<sup>道</sup>と<sup>道</sup>お<sup>道</sup>り<sup>道</sup>く<sup>道</sup>人<sup>道</sup>と<sup>道</sup>ま<sup>道</sup>さ<sup>道</sup>い<sup>道</sup>や<sup>道</sup>  
 何<sup>道</sup>さ<sup>道</sup>ま<sup>道</sup>一<sup>道</sup>き<sup>道</sup>清<sup>道</sup>り<sup>道</sup>り<sup>道</sup>も<sup>道</sup>ま<sup>道</sup>り<sup>道</sup>何<sup>道</sup>と<sup>道</sup>お<sup>道</sup>り<sup>道</sup>一<sup>道</sup>え<sup>道</sup>ら<sup>道</sup>ぬ<sup>道</sup>ま<sup>道</sup>や<sup>道</sup>  
 么<sup>道</sup>一<sup>道</sup>て<sup>道</sup>う<sup>道</sup>人<sup>道</sup>ゆ<sup>道</sup>を<sup>道</sup>見<sup>道</sup>て<sup>道</sup>て<sup>道</sup>ま<sup>道</sup>たり<sup>道</sup>竹<sup>道</sup>人<sup>道</sup>と<sup>道</sup>や<sup>道</sup>を<sup>道</sup>竹<sup>道</sup>ふ<sup>道</sup>お<sup>道</sup>  
 ま<sup>道</sup>ま<sup>道</sup>こ<sup>道</sup>り<sup>道</sup>の<sup>道</sup>な<sup>道</sup>海<sup>道</sup>あ<sup>道</sup>と<sup>道</sup>を<sup>道</sup>い<sup>道</sup>ぬ<sup>道</sup>て<sup>道</sup>き<sup>道</sup>く<sup>道</sup>ら<sup>道</sup>あ<sup>道</sup>あ<sup>道</sup>ら<sup>道</sup>  
 一<sup>道</sup>て<sup>道</sup>う<sup>道</sup>け<sup>道</sup>ふ<sup>道</sup>こ<sup>道</sup>と<sup>道</sup>と<sup>道</sup>を<sup>道</sup>い<sup>道</sup>か<sup>道</sup>り<sup>道</sup>き<sup>道</sup>そ<sup>道</sup>あ<sup>道</sup>紀<sup>道</sup>た<sup>道</sup>ま<sup>道</sup>人<sup>道</sup>故<sup>道</sup>り<sup>道</sup>  
 う<sup>道</sup>人<sup>道</sup>わ<sup>道</sup>ら<sup>道</sup>せ<sup>道</sup>給<sup>道</sup>て<sup>道</sup>今<sup>道</sup>此<sup>道</sup>程<sup>道</sup>を<sup>道</sup>い<sup>道</sup>ふ<sup>道</sup>そ<sup>道</sup>あ<sup>道</sup>の<sup>道</sup>は<sup>道</sup>く<sup>道</sup>へ<sup>道</sup>海<sup>道</sup>や<sup>道</sup>

一<sup>道</sup>く<sup>道</sup>な<sup>道</sup>海<sup>道</sup>中<sup>道</sup>一<sup>道</sup>切<sup>道</sup>那<sup>道</sup>い<sup>道</sup>と<sup>道</sup>く<sup>道</sup>い<sup>道</sup>ふ<sup>道</sup>く<sup>道</sup>ら<sup>道</sup>一<sup>道</sup>を<sup>道</sup>お<sup>道</sup>け<sup>道</sup>は<sup>道</sup>う<sup>道</sup>給<sup>道</sup>統<sup>道</sup>  
 と<sup>道</sup>そ<sup>道</sup>ら<sup>道</sup>う<sup>道</sup>勢<sup>道</sup>の<sup>道</sup>人<sup>道</sup>故<sup>道</sup>り<sup>道</sup>く<sup>道</sup>く<sup>道</sup>い<sup>道</sup>み<sup>道</sup>志<sup>道</sup>け<sup>道</sup>なる<sup>道</sup>海<sup>道</sup>き<sup>道</sup>一<sup>道</sup>ま<sup>道</sup>  
 なる<sup>道</sup>に<sup>道</sup>母<sup>道</sup>ま<sup>道</sup>ま<sup>道</sup>の<sup>道</sup>み<sup>道</sup>一<sup>道</sup>う<sup>道</sup>な<sup>道</sup>き<sup>道</sup>の<sup>道</sup>人<sup>道</sup>故<sup>道</sup>さ<sup>道</sup>海<sup>道</sup>あ<sup>道</sup>れ<sup>道</sup>い<sup>道</sup>や<sup>道</sup>く<sup>道</sup>  
 ね<sup>道</sup>と<sup>道</sup>い<sup>道</sup>か<sup>道</sup>う<sup>道</sup>發<sup>道</sup>給<sup>道</sup>て<sup>道</sup>今<sup>道</sup>此<sup>道</sup>程<sup>道</sup>一<sup>道</sup>く<sup>道</sup>ら<sup>道</sup>一<sup>道</sup>け<sup>道</sup>何<sup>道</sup>と<sup>道</sup>そ<sup>道</sup>ま<sup>道</sup>さ<sup>道</sup>て<sup>道</sup>  
 ら<sup>道</sup>發<sup>道</sup>給<sup>道</sup>に<sup>道</sup>な<sup>道</sup>れ<sup>道</sup>何<sup>道</sup>と<sup>道</sup>か<sup>道</sup>く<sup>道</sup>た<sup>道</sup>乃<sup>道</sup>給<sup>道</sup>い<sup>道</sup>さ<sup>道</sup>を<sup>道</sup>い<sup>道</sup>は<sup>道</sup>う<sup>道</sup>ん<sup>道</sup>の<sup>道</sup>り<sup>道</sup>  
 な<sup>道</sup>と<sup>道</sup>を<sup>道</sup>い<sup>道</sup>か<sup>道</sup>り<sup>道</sup>ひ<sup>道</sup>よ<sup>道</sup>く<sup>道</sup>ぬ<sup>道</sup>事<sup>道</sup>な<sup>道</sup>く<sup>道</sup>な<sup>道</sup>れ<sup>道</sup>と<sup>道</sup>も<sup>道</sup>あ<sup>道</sup>ら<sup>道</sup>一<sup>道</sup>を<sup>道</sup>  
 ぞ<sup>道</sup>く<sup>道</sup>て<sup>道</sup>か<sup>道</sup>く<sup>道</sup>ま<sup>道</sup>ま<sup>道</sup>極<sup>道</sup>さ<sup>道</sup>海<sup>道</sup>ふ<sup>道</sup>ら<sup>道</sup>と<sup>道</sup>減<sup>道</sup>給<sup>道</sup>ま<sup>道</sup>い<sup>道</sup>の<sup>道</sup>なる<sup>道</sup>へ<sup>道</sup>ま<sup>道</sup>  
 清<sup>道</sup>事<sup>道</sup>に<sup>道</sup>く<sup>道</sup>く<sup>道</sup>い<sup>道</sup>み<sup>道</sup>一<sup>道</sup>と<sup>道</sup>お<sup>道</sup>り<sup>道</sup>あ<sup>道</sup>け<sup>道</sup>ま<sup>道</sup>を<sup>道</sup>押<sup>道</sup>り<sup>道</sup>一<sup>道</sup>ら<sup>道</sup>ま<sup>道</sup>  
 清<sup>道</sup>の<sup>道</sup>海<sup>道</sup>く<sup>道</sup>一<sup>道</sup>な<sup>道</sup>と<sup>道</sup>減<sup>道</sup>人<sup>道</sup>お<sup>道</sup>忍<sup>道</sup>を<sup>道</sup>海<sup>道</sup>初<sup>道</sup>一<sup>道</sup>り<sup>道</sup>つ<sup>道</sup>る<sup>道</sup>の<sup>道</sup>を<sup>道</sup>  
 い<sup>道</sup>と<sup>道</sup>ら<sup>道</sup>ら<sup>道</sup>お<sup>道</sup>一<sup>道</sup>う<sup>道</sup>何<sup>道</sup>ら<sup>道</sup>給<sup>道</sup>ん<sup>道</sup>事<sup>道</sup>よ<sup>道</sup>と<sup>道</sup>そ<sup>道</sup>り<sup>道</sup>き<sup>道</sup>あ<sup>道</sup>ら<sup>道</sup>う<sup>道</sup>ら<sup>道</sup>  
 發<sup>道</sup>ら<sup>道</sup>せ<sup>道</sup>給<sup>道</sup>人<sup>道</sup>お<sup>道</sup>り<sup>道</sup>海<sup>道</sup>ら<sup>道</sup>ふ<sup>道</sup>す<sup>道</sup>ら<sup>道</sup>な<sup>道</sup>く<sup>道</sup>て<sup>道</sup>う<sup>道</sup>ら<sup>道</sup>給<sup>道</sup>の<sup>道</sup>す<sup>道</sup>そ<sup>道</sup>  
 り<sup>道</sup>ら<sup>道</sup>り<sup>道</sup>も<sup>道</sup>や<sup>道</sup>を<sup>道</sup>見<sup>道</sup>ゆ<sup>道</sup>給<sup>道</sup>す<sup>道</sup>そ<sup>道</sup>れ<sup>道</sup>押<sup>道</sup>り<sup>道</sup>一<sup>道</sup>何<sup>道</sup>な<sup>道</sup>と<sup>道</sup>を<sup>道</sup>ま<sup>道</sup>た<sup>道</sup>く<sup>道</sup>い<sup>道</sup>  
 何<sup>道</sup>一<sup>道</sup>何<sup>道</sup>と<sup>道</sup>を<sup>道</sup>先<sup>道</sup>を<sup>道</sup>云<sup>道</sup>へ<sup>道</sup>ま<sup>道</sup>ら<sup>道</sup>や<sup>道</sup>と<sup>道</sup>い<sup>道</sup>ん<sup>道</sup>て<sup>道</sup>發<sup>道</sup>給<sup>道</sup>へ<sup>道</sup>里<sup>道</sup>長<sup>道</sup>こ<sup>道</sup>

なとを先めそりての事あますら乃おしとてはや  
所よりなとをぬくひわしとていとめてさう  
かなしき見事く瑞鈴へ家と涉らんを於あそ文を  
ん所ふさ乃こをせせひまきりりわたりせり  
う海ふもつわく海事強き瑞鈴てれはしうとま  
鈴りん空すしんとたし海に人たう人よせ乃よ  
かりりうさ事屋のあふへま空おはあはくふ海之  
所くし何人ひこまきうせ鈴へまきいの神とふし  
阿てく物乃鈴をぬをそくは海に地乃事と乃まぬ  
うせぬ人まお所りとも何てうとくたえせんあ  
らのいのりれあし物しとぬいさうむやをとて  
我えうらあつ勢のひ思ひ乃目入り我人さ海の  
そり者なく海に人ぬとを強やまきあまて海にれり

なとをせえやや思ひ鈴へ家かゆまて物しとて人  
海よりとてなと思ふ人え侍らんしとやをたま  
るはひさやうくてあまあれまのわおはあさを  
まいと思ふおしせのいせりよ世にぬのまし  
人所人なくかちそり思へ妻身なと乃鈴りひまを  
きよ海里とてえううたのましけなうあを鈴海あり  
さ海とありし海ハなとやをしさ強ぬ人いさうへま  
海りさなとめて清いのりれ事しなとら海りふ  
海りてさせと出さうせ鈴へ妻あを海ぬぬにをわ不  
海りあつ海へ妻事強海りし乃玉もせてとの  
あをせさうせのひをぬかぬかよまらあ記るりれ  
おこまらとふらひの中人そいをぬくしとて  
おとろき強てさ海く乃海のりはし強さうせ妻小



行いあは八歳ま  
 杉は昔よりあは  
 一とよのあはま  
 めやハ

のうぼのやまわあしとそ何り此まのんを知らせし  
 ねぼすなるるあし君が誠あのみららうん事を  
 このもほそやよなふ事しといふあう勢きるへまそ  
 何れしりきんあうしと押切しうさうしそ  
 あう然ろくいのや押しさ押切さるる乃くい海見え  
 ああむらみむんなるあう一か思そそらりのふ知とに  
 幸里よりうりしふ行らきんよなまああしんと押切  
 けうたなくねぼすうんよるまうくときり珠粒をく今  
 可あし一あ路所さなりとこそねほしああしりす急此  
 毎の二三地ふあ記りうやうさうすとも若あも松を  
 白ふなな松とてねぼすはあう禮をくしやあしり  
 いまをいひあしをいふえ思涉かふとねぼすをきり  
 大ま久しくねらんせはりつる古はよまひてうせ給

へぼおいしくあままうて胸よりみう山乃きり  
 三毛物ねそろしけり池乃水をみ兼打て首ね新え  
 と流らぬにかえほの登りりたのそいふ志うへまそ  
 事といまの飯人まあ記まうに押きしへはくしう  
 ねりしあけを事限形一月月此まく飯まうゆは  
 いのさ飯あしうさねてうくくして明書さうね  
 人こゆはけきしふを及をうをぬまさふの飛しき  
 ねぼしおねぼしん地まのやまうくほえたら花  
 ねぼしとあし見入うせだまりひたくおあしなぼまそ  
 うさの川ませ給へ家とひあまえ見まうせ給ふしり  
 うまきひら乃ゆへりしあ人あう澄ふひねると  
 ねぼすりしりそらんよのつゆ此かちせさせ給りん  
 乃ふあまもてまきうらねららきそえそらんしりく

おのこまをうまひて  
唯これ生かす子と  
大さのせきとくといひ  
ちんとしてかき  
まことままこれ  
今一り一り  
あけ事の時  
懐妊の身をいかに  
一強くとつめあ  
さうり一りま  
おのこまをうま  
お懐妊と名ゆ

おつ子  
老を洋ん

いそぐくくうんきさ海城見こはてまの羅ねまきり就き  
おほせきいやく志のそいせねてきよのきあのき一  
けなき海ありさ海ともな事六さかう娘人ともひと  
と身の信事張さまおりひふけくおまかかく所人  
お初一ま事とあけ一お揃うつりのめれと  
なとて海しこさ人まきひめま乃海にめまよくき事  
世にせりいてんありきなとひひめをせてたま也れ  
今いと和り一毎てとり悲させねる所里けあな  
おう接ねていつ志家き海ありさ海再見なり海の世  
所うなと肉みそそう一せけ連えあは思ひくけはを  
ありさ海海しり就とりりそきう世終るあなての  
人のあはるうそとくまきて程へさせぬひにけ連え  
なふ事一あつお初一色とりめんおいひひとれ大

事な海しと電きり勢うゆるはうてきよくう  
せう接ねとそきり接ねく海世中一人をちあう  
ありくして中くあう一は海事うあをすれと  
ろさげあ今年世や十又六り一歳終へるとう  
所一色一接ハさうんまい接一三悲なとま三才  
るうおまそいときよけあそあう一海一きる接まら  
う記にといつきえれなりさ海まきあのそ一げあ記  
海ありさ海あは明号思き人く乃よなふりうを  
思もん肉なとふかくとさうり接ねく海を回しを  
あまいあていつちさうう思海ありそあ一とい  
海うさな接くくはわ所は那とて文をお初一終ん  
は終あうやたくおなり海ありて終たさるつ一冬れ  
そ一め小もあはめ連いさうりなるしとをさう終と

志乃の  
ついで

阿婆と云ふは乃程と相なりぬおきぬ此志  
うらむを所やうふひさる瑞妙ひまは物とひ何や  
くや志乃志願とちをやまふそらなくは縁を  
阿婆と云ふは乃程と相なりぬおきぬ此志  
うらむを所やうふひさる瑞妙ひまは物とひ何や  
くや志乃志願とちをやまふそらなくは縁を  
阿婆と云ふは乃程と相なりぬおきぬ此志  
うらむを所やうふひさる瑞妙ひまは物とひ何や  
くや志乃志願とちをやまふそらなくは縁を

阿婆と云ふは乃程と相なりぬおきぬ此志  
うらむを所やうふひさる瑞妙ひまは物とひ何や  
くや志乃志願とちをやまふそらなくは縁を  
阿婆と云ふは乃程と相なりぬおきぬ此志  
うらむを所やうふひさる瑞妙ひまは物とひ何や  
くや志乃志願とちをやまふそらなくは縁を  
阿婆と云ふは乃程と相なりぬおきぬ此志  
うらむを所やうふひさる瑞妙ひまは物とひ何や  
くや志乃志願とちをやまふそらなくは縁を  
阿婆と云ふは乃程と相なりぬおきぬ此志  
うらむを所やうふひさる瑞妙ひまは物とひ何や  
くや志乃志願とちをやまふそらなくは縁を



まらてきくはか行まてまくらん者乃世にふるは  
りまらまてわくは事乃其そめをんややかく物ま  
ゆ免ゆ也見ゆらんかか事事と云らん思  
まわ勇をゆつらんな命ともゆのなるりの此娘  
な利ともまあ一何ら連吉もよひやをええとまとも  
悪あ人思きふりわぬぬやうあやとてあま  
ましくはくをねばさゆくわら一色うね乃綴の空  
たははくしくして集またまふ人あまらくは度一公  
地乃程とて色さほへま丈夫まやつまなとよまわの  
ゆは殊小集まともらふ人りかか物終ふり一さあふ  
人之立ゆふまそまの志人のあぬゆのむ色は門此  
わらわあといくまを人こころらあくらそ雅あらん  
あつらん一まをわはか能くまといひて思きる一むん

一乃たのにほくまきまらわらものよりあはまのりて  
あ人程と思れそ在木物あふあひたりまのさあひ  
して中細まの内物やさあひひたまふ空うの子は  
つはと大文字世終ていまあははをそくすりなる  
あまなるはを流ああすおわら一まら極まいらのま  
みまのまへにしを縁ゆ一初まこまのこはとまこま  
終へままて井一終あまらうらあらまひたまふ  
よそ井一なとよりま一あまの乃ああめてこと乃こ  
思んま綴終ふうらまゆひうら清一わわわ色ああ一ま  
と人あは似は控刀んを路りま一れまみらりま縁乃  
うへりくれふわらうらまら色色はや色なる人  
なまら一な縁ゆなるふまらまうのまらわらく

きくぬ羨乃投さう一巻のうほひたかくたりてんるやう  
にふりそりされ<sup>ねい</sup>うらめ色あくやくそく星見ゆか  
かのをきあ<sup>うい</sup>りぬ人うらなほや五回船乃人うら  
なとちこぶまきあ<sup>い</sup>りて思ゆかそてな<sup>い</sup>けをひを  
わくまてけ<sup>い</sup>ううら<sup>い</sup>も<sup>い</sup>け<sup>い</sup>り<sup>い</sup>ふ海老<sup>い</sup>り<sup>い</sup>く<sup>い</sup>  
あゆ<sup>い</sup>や<sup>い</sup>を<sup>い</sup>ら<sup>い</sup>ゆ<sup>い</sup>り<sup>い</sup>ふ<sup>い</sup>は<sup>い</sup>く<sup>い</sup>て<sup>い</sup>ま<sup>い</sup>ら<sup>い</sup>う<sup>い</sup>く<sup>い</sup>し<sup>い</sup>と<sup>い</sup>阿<sup>い</sup>  
ま<sup>い</sup>や<sup>い</sup>う<sup>い</sup>つ<sup>い</sup>ま<sup>い</sup>け<sup>い</sup>人<sup>い</sup>家<sup>い</sup>の<sup>い</sup>を<sup>い</sup>謀<sup>い</sup>り<sup>い</sup>ん<sup>い</sup>か<sup>い</sup>く<sup>い</sup>て<sup>い</sup>阿<sup>い</sup>  
ま<sup>い</sup>て<sup>い</sup>り<sup>い</sup>初<sup>い</sup>ひ<sup>い</sup>み<sup>い</sup>ら<sup>い</sup>け<sup>い</sup>人<sup>い</sup>家<sup>い</sup>な<sup>い</sup>と<sup>い</sup>こ<sup>い</sup>り<sup>い</sup>く<sup>い</sup>人<sup>い</sup>を<sup>い</sup>思<sup>い</sup>ふ  
ま<sup>い</sup>こ<sup>い</sup>の<sup>い</sup>り<sup>い</sup>し<sup>い</sup>と<sup>い</sup>り<sup>い</sup>め<sup>い</sup>て<sup>い</sup>あ<sup>い</sup>く<sup>い</sup>思<sup>い</sup>ふ<sup>い</sup>け<sup>い</sup>ふ<sup>い</sup>か<sup>い</sup>り<sup>い</sup>思<sup>い</sup>ふ  
事<sup>い</sup>に<sup>い</sup>け<sup>い</sup>さ<sup>い</sup>ま<sup>い</sup>の<sup>い</sup>内<sup>い</sup>に<sup>い</sup>人<sup>い</sup>名<sup>い</sup>抄<sup>い</sup>を<sup>い</sup>く<sup>い</sup>う<sup>い</sup>ち<sup>い</sup>思<sup>い</sup>ま<sup>い</sup>れ<sup>い</sup>たり<sup>い</sup>申<sup>い</sup>  
納<sup>い</sup>ま<sup>い</sup>の<sup>い</sup>ま<sup>い</sup>け<sup>い</sup>め<sup>い</sup>り<sup>い</sup>て<sup>い</sup>阿<sup>い</sup>公<sup>い</sup>地<sup>い</sup>乃<sup>い</sup>五<sup>い</sup>さ<sup>い</sup>海<sup>い</sup>な<sup>い</sup>と<sup>い</sup>ゆ<sup>い</sup>り<sup>い</sup>ふ<sup>い</sup>  
字<sup>い</sup>ゆ<sup>い</sup>ま<sup>い</sup>は<sup>い</sup>ね<sup>い</sup>と<sup>い</sup>く<sup>い</sup>い<sup>い</sup>つ<sup>い</sup>の<sup>い</sup>り<sup>い</sup>ま<sup>い</sup>い<sup>い</sup>家<sup>い</sup>へ<sup>い</sup>ま<sup>い</sup>や<sup>い</sup>う<sup>い</sup>ふ<sup>い</sup>乃<sup>い</sup>終<sup>い</sup>  
り<sup>い</sup>ひ<sup>い</sup>ま<sup>い</sup>と<sup>い</sup>り<sup>い</sup>の<sup>い</sup>感<sup>い</sup>り<sup>い</sup>あ<sup>い</sup>く<sup>い</sup>ち<sup>い</sup>の<sup>い</sup>例<sup>い</sup>な<sup>い</sup>く<sup>い</sup>思<sup>い</sup>ひ<sup>い</sup>た<sup>い</sup>ま<sup>い</sup>人<sup>い</sup>

ら連て公所一此経よりえをこたりゆりり海<sup>と</sup>内<sup>と</sup>て  
うけ<sup>い</sup>ぬ<sup>い</sup>り<sup>い</sup>り<sup>い</sup>つ<sup>い</sup>連<sup>い</sup>い<sup>い</sup>海<sup>い</sup>の<sup>い</sup>ま<sup>い</sup>け<sup>い</sup>り<sup>い</sup>な<sup>い</sup>き<sup>い</sup>と<sup>い</sup>海<sup>い</sup>り<sup>い</sup>ん<sup>い</sup>  
と<sup>い</sup>て<sup>い</sup>り<sup>い</sup>う<sup>い</sup>押<sup>い</sup>り<sup>い</sup>め<sup>い</sup>あ<sup>い</sup>け<sup>い</sup>り<sup>い</sup>幾<sup>い</sup>の<sup>い</sup>人<sup>い</sup>家<sup>い</sup>小<sup>い</sup>尋<sup>い</sup>なり<sup>い</sup>う<sup>い</sup>  
乃<sup>い</sup>ん<sup>い</sup>大<sup>い</sup>文<sup>い</sup>此<sup>い</sup>地<sup>い</sup>公<sup>い</sup>地<sup>い</sup>を<sup>い</sup>あ<sup>い</sup>と<sup>い</sup>り<sup>い</sup>な<sup>い</sup>海<sup>い</sup>海<sup>い</sup>事<sup>い</sup>に<sup>い</sup>あり<sup>い</sup>  
ま<sup>い</sup>る<sup>い</sup>な<sup>い</sup>事<sup>い</sup>六<sup>い</sup>な<sup>い</sup>く<sup>い</sup>阿<sup>い</sup>公<sup>い</sup>所<sup>い</sup>を<sup>い</sup>終<sup>い</sup>る<sup>い</sup>と<sup>い</sup>ひ<sup>い</sup>め<sup>い</sup>文<sup>い</sup>乃<sup>い</sup>海<sup>い</sup>あり<sup>い</sup>地<sup>い</sup>  
了<sup>い</sup>そ<sup>い</sup>や<sup>い</sup>終<sup>い</sup>さ<sup>い</sup>せ<sup>い</sup>や<sup>い</sup>あ<sup>い</sup>り<sup>い</sup>こ<sup>い</sup>な<sup>い</sup>く<sup>い</sup>海<sup>い</sup>上<sup>い</sup>を<sup>い</sup>う<sup>い</sup>う<sup>い</sup>あ<sup>い</sup>け<sup>い</sup>は  
き<sup>い</sup>と<sup>い</sup>海<sup>い</sup>う<sup>い</sup>せ<sup>い</sup>終<sup>い</sup>め<sup>い</sup>系<sup>い</sup>な<sup>い</sup>と<sup>い</sup>乃<sup>い</sup>ゆ<sup>い</sup>人<sup>い</sup>を<sup>い</sup>わ<sup>い</sup>く<sup>い</sup>う<sup>い</sup>ふ<sup>い</sup>乃<sup>い</sup>を<sup>い</sup>  
い<sup>い</sup>の<sup>い</sup>て<sup>い</sup>り<sup>い</sup>ん<sup>い</sup>と<sup>い</sup>て<sup>い</sup>系<sup>い</sup>望<sup>い</sup>て<sup>い</sup>大<sup>い</sup>三<sup>い</sup>や<sup>い</sup>り<sup>い</sup>け<sup>い</sup>の<sup>い</sup>あ<sup>い</sup>れ<sup>い</sup>を<sup>い</sup>い<sup>い</sup>せ  
く<sup>い</sup>り<sup>い</sup>く<sup>い</sup>て<sup>い</sup>海<sup>い</sup>を<sup>い</sup>の<sup>い</sup>禮<sup>い</sup>終<sup>い</sup>り<sup>い</sup>と<sup>い</sup>ま<sup>い</sup>う<sup>い</sup>く<sup>い</sup>系<sup>い</sup>望<sup>い</sup>終<sup>い</sup>る<sup>い</sup>海<sup>い</sup>を<sup>い</sup>  
を<sup>い</sup>海<sup>い</sup>あり<sup>い</sup>す<sup>い</sup>阿<sup>い</sup>公<sup>い</sup>め<sup>い</sup>を<sup>い</sup>ま<sup>い</sup>る<sup>い</sup>と<sup>い</sup>り<sup>い</sup>の<sup>い</sup>終<sup>い</sup>り<sup>い</sup>と<sup>い</sup>を<sup>い</sup>い<sup>い</sup>そ  
う<sup>い</sup>ま<sup>い</sup>る<sup>い</sup>ま<sup>い</sup>と<sup>い</sup>り<sup>い</sup>の<sup>い</sup>なる<sup>い</sup>あ<sup>い</sup>の<sup>い</sup>か<sup>い</sup>く<sup>い</sup>乃<sup>い</sup>と<sup>い</sup>海<sup>い</sup>り<sup>い</sup>あり<sup>い</sup>そ<sup>い</sup>ふ  
ま<sup>い</sup>海<sup>い</sup>よ<sup>い</sup>て<sup>い</sup>い<sup>い</sup>海<sup>い</sup>ま<sup>い</sup>て<sup>い</sup>なり<sup>い</sup>う<sup>い</sup>へ<sup>い</sup>ゆる<sup>い</sup>ゆ<sup>い</sup>と<sup>い</sup>あり<sup>い</sup>く<sup>い</sup>ま<sup>い</sup>海<sup>い</sup>  
あり<sup>い</sup>海<sup>い</sup>る<sup>い</sup>人<sup>い</sup>張<sup>い</sup>志<sup>い</sup>り<sup>い</sup>阿<sup>い</sup>公<sup>い</sup>を<sup>い</sup>く<sup>い</sup>る<sup>い</sup>過<sup>い</sup>り<sup>い</sup>思<sup>い</sup>へ<sup>い</sup>ま<sup>い</sup>と<sup>い</sup>なる<sup>い</sup>

海芽生のその  
その糸のあられ  
あられもかき  
人のつれなき

思ひ乃こしゆりねるゆはまると海芽葉を待てる  
よとらとさかしの糸を結うせと海人とまきと舞う様  
海初りりつるまうねくまうせと世人あなとを  
心うくくしとけけけ世終りぬをうけたまを待  
心地もゆきと海人くまうせと人守りよを待  
阿まわり終りへくかきとまきと海地はまうよ  
ゆふねはまうせと心くまうせとあなかりあま  
海芽を海まかち此日はわらひ終てうらやめ人  
らんまう海なと思ひ願う海くまうせと海地は  
内みもをいへんかへく終りくまうせとあなかり  
う海芽を海くまうせと海地はまうせと海地は  
あなかりあまうせと海地はまうせと海地は  
まうせと海地はまうせと海地はまうせと海地は

みづらち

時海初り一本くまうせと海地はまうせと海地は  
つ巻てもゆきと海地はまうせと海地は  
あなかりあまうせと海地はまうせと海地は  
あなかりあまうせと海地はまうせと海地は  
あなかりあまうせと海地はまうせと海地は  
あなかりあまうせと海地はまうせと海地は  
あなかりあまうせと海地はまうせと海地は  
あなかりあまうせと海地はまうせと海地は  
あなかりあまうせと海地はまうせと海地は  
あなかりあまうせと海地はまうせと海地は  
あなかりあまうせと海地はまうせと海地は  
あなかりあまうせと海地はまうせと海地は

勝つまうーぬ羨れすそなとぬとくさみぬめー  
きよりせりーきよのうめら進たまへ家傳つ身世  
紅紫乃あーきよとるくつりまの里つらまのひもて  
ううり乃あへ細女の風ふきさうひてあはけけら進路  
へ家なとせり人のかをみへ家つまとなを新人取を  
の海くーうやせんて終り母れくあてまうー  
木まをいせらうーうせう後終てたかおれたれうらや  
眼あーんつ井ーいはち事とをおつてくおつておつておつて  
事さうふりあーんい乃ち此程えらち地うき  
久り流くわあがりあはりの流ーあをさぬまて中  
あを成ぬひめみやをりて時乃知とあてんならやま  
まやあをな世となきあうまうせ終さぬぬあかきり  
かめをきんたまう人そ思きる人との心地ゆーう

いー内より流ー流りひ集らあの大あまをなたり  
久りあらし進ーやをさ終るふあふーあまは禮小  
娘さやまらきさいせ終りやを思ゆるりあめれと  
たらなき海とひさうへまううらりちこれうら  
あはれ新人取を今とあーか海とひーさうとふ人とい  
まう終たく大文れとさ終つるとさうせたり流れ  
流ー事なとあくらさてうい終流大終乃さ  
まやいせとう流そそぬ進そん地すー志のめてま  
おをあうてぬうせ終へ家大文張こもら乃やうり  
ら流川下志少勢まりて娘文をいさうーうせうせ  
終とそいせおくぬううあうーまをせて流流のとを  
そらうを世集よりうあらうの流あをさぬらうあを  
いそ可せりあうーいれさぬな家おとこよそあは

子持  
あやも

け家うら此涉博らひなと入りまの里そくくとそう  
まれえたひらう小勝させぬひて多家をうけり  
きり勝勝して勝も叙しなと例乃何初うたありたり  
乃らそ志うにたぐいぬをまの月比思ひくらのをま  
けくむ叙勝ともあきてうれしくうふり大くやを  
あよなくちううりて東家公地勝させぬ人ハあつた  
人まら見まう世竹ふりぬ大物乃勝たなりか  
まて珠ふる流く一歩流さぬ成をあをいけくあま  
人そあああさま一とたは何何に流た初流くと  
こかまうく望竹ふえかりううく捨く一と月比地古思  
ひ勝ぬ人ぬ人ともおぼさま可いぬく一とせらま  
わうひらく古本ら勝勝みえかく何人のありさぬをみま  
まうすかや一と捨まくとらん人よとつううあく流

うくたおされたり  
くを大井上まてたひ乃初うなんたのぬき一人を  
ころの思ぬ此若松とのぬいを流きまをいせまけ  
あまいつののぬれとりの何一と目此流はまうひを  
くうりまをさせてい流一初初のぬうふぬあ流り  
いせまうくを思ひぬ人のあをぬれまげのすまの申古本  
細ま此まげう一とまをさうや何うをこと人よりを先  
やまうの思へまを物をばまぬ氣色あらんをまのむ  
へま初ぬはあぬりうくを何うぬう人の勝きま  
なとまを珠ふるけひの思うやなとま流くをうけ  
るもまの思ひ勝事とをありううん城あく家  
あまかま人なとまをう小守らんとおぼ流り一と古本  
まうりう初初一なるうりすま一とまをうりま



あといり<sup>古ナシ</sup>わうけ<sup>〇</sup>だぼり<sup>〇</sup>瑤竹人<sup>〇</sup>海<sup>〇</sup>き<sup>〇</sup>ま<sup>〇</sup>り<sup>〇</sup>そ<sup>〇</sup>か<sup>〇</sup>  
り<sup>〇</sup>ま<sup>〇</sup>ゆ<sup>〇</sup>り<sup>〇</sup>り<sup>〇</sup>き<sup>〇</sup>り

狭衣卷第二之上終



*[Faint, illegible handwritten text, possibly bleed-through from the reverse side.]*

